

REVIEW 2022

Broadmedia & Entertainment Inter BEE
REVIEW 2022

■主催：JEITA 一般社団法人電子情報技術産業協会
■お問い合わせ：
一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会（JESA）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル4階
E-mail: contact2023@inter-bee.com

www.inter-bee.com



幕張に熱気が戻ってきた。 Inter BEE 2022はリアル会場に 810社／団体が出展、26,901名が来場。 オンライン会場も含め大盛況に。

2022年11月16日から18日にかけて幕張メッセで行われたメディア総合イベントInter BEE 2022。オンライン会場では12月23日まで開催され、盛況となった。来場者数は3日間合計で26,901名となり、昨年の18,308名の約1.5倍と大幅に増えた。出展した企業及び団体数も昨年の495から810に大きく増え、ホール4から8までの5ホールを埋め尽くした。来場者はリアルな展示で最新技術を体感した上、密度の濃いディスカッションを直接聞けるイベントとして楽しんでいただいた。また常連の来場者の方々にとっては、幕張だからこそ会える仲間と久々に旧交を温める場としても活用いただいた。

2022年の会場では、いかにも業界のプロといった人たちとは別に、カジュアルな装いの若い来場者の方々が多く見られた。デジタルの進化で映像を中心に制作のハードルが下がり、作り手たちの裾野が広がったせいだと思われる。一昔前なら高額だった機器や技術が手に取れる価格になってきて、言わば制作技術の民主化が起こっているのだ。テレビや映画、CMなどプロでなければ関われない世界だったものが、ネットという誰でも作ったものを見もらえる場ができたことで、一気に壁がなくなった。機器メーカーの皆様や技術企業の方々も、そうした層を意識した製品にも注力しているようだ。業界の収縮が言われがちだが、実はメディア業界全体の面積は広がり続けている。2023年以降の業界が更に新しい息吹に包まれることを予感し、Inter BEEのこれからを大いに期待いただきたい。



INTER BEE FORUM

オンラインからリアルへと繋ぐ多彩なセッション
3年振りの幕張メッセ会場リアルコンファレンスに熱気が溢れた



2020年、2021年と2年続けてオンライン配信のみでの展開となったINTER BEE FORUMだが、今回は3年振りにリアルコンファレンスとして実施され、どのセッションにも多くの熱心な聴講者が集まった。

11月1日からのオンラインによるプレセッションから、16、17、18日の幕張メッセ会場でのリアルセッションへと繋ぐ今回の試み。Opening & Keynoteから始まったプレセッションでは、基調講演が1セッションに特別講演が2セッション。リアルセッションでは、特別企画基調講演を含む8セッションの基調講演と10セッションの特別講演が実施され、合計で基調講演9セッション、特別講演12セッションとなった。

プレセッションの基調講演では、オープニング&キーノートとして総務省大臣官房審議官 山崎氏 とNHK 理事・技師長 児玉氏が登壇、NAB会長のカーティス・レジェット氏からもメッセージをいただいた。リアルセッションでは各分野での現在のテーマを発信する特別企画基調講演がプログラムされた。

INTER BEE CONNECTED 基調講演では、世界的にメディアの最新キーワードとなっている「コネクテッドTV」と「FAST(無料広告型リニア配信サービス)」をキーワードに、放送とメディアの新たなビジネスモデルを考察。また、INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演では先端テクノロジーをキ

ワードに、2025年に開催される大阪・関西万博を考えるセッション。INTER BEE CREATIVE 基調講演では、インカメラVFXを駆使して撮影されたNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」での、制作時の挑戦秘話を語るセッション。INTER BEE IP PAVILION 基調講演ではビッグテック4の登壇者が顔を揃え、放送局に「SDIからIP、クラウドの道筋」の提言を行い、また音響部門基調講演としてデジタルやAoIPへと技術が進化している中で、「新しい音創りへのチャレンジ」をテーマとしたセッションが行われた。

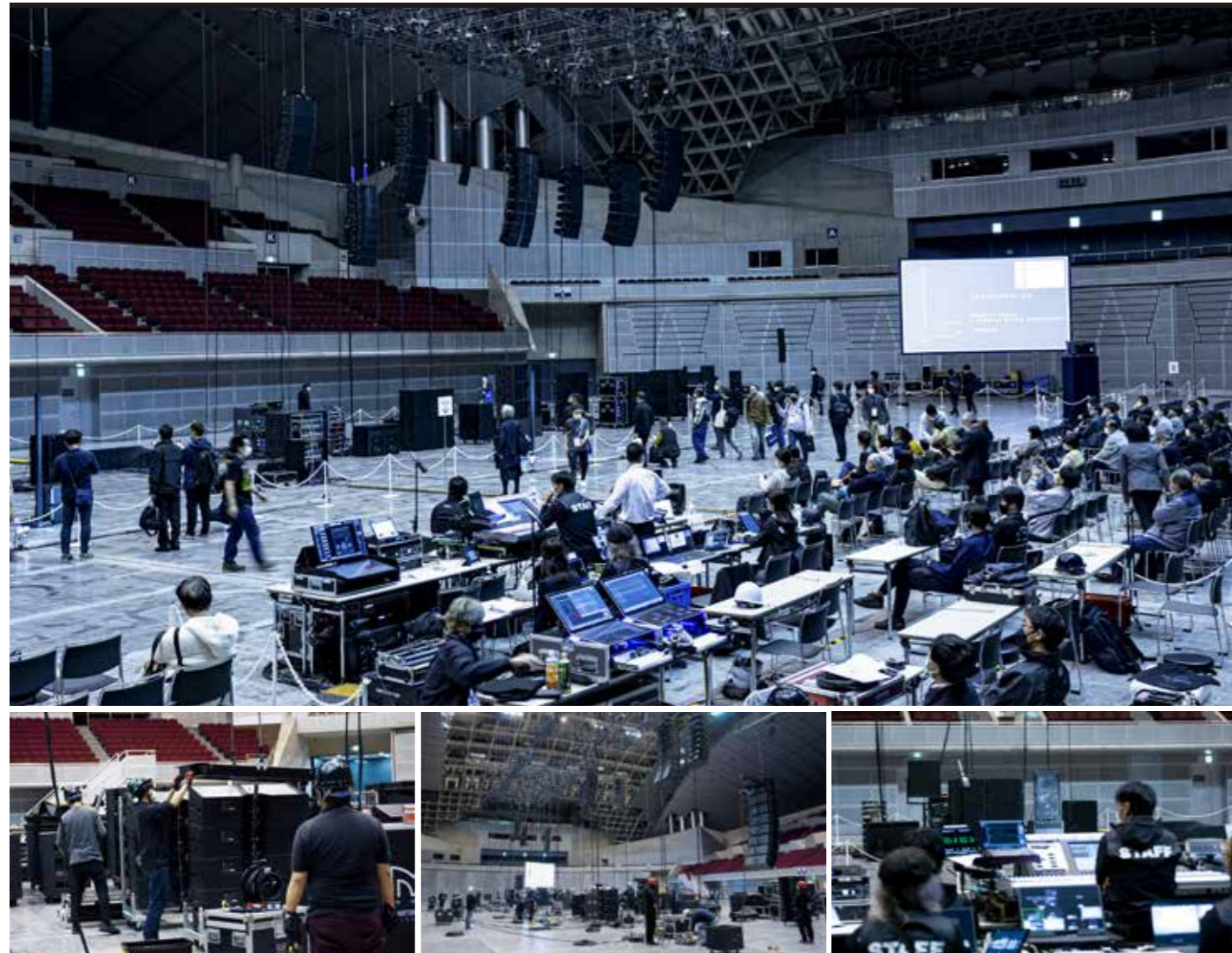
特別講演においても、「Z世代エンジニアたちが懸ける放送業界の未来」「テクノロジーが変えるダイバーシティの未来」「ラジオの向うに何があるのか?!」といった、メディアと表現の未来を語るセッションが並び、「Virtual NHK ~メタバースを活用した番組制作」「放送メディアのパラダイムシフト：参加型デジタル空間による新たな価値・多様性の創生!!」など、放送メディアとメタバースをテーマとしたセッションにも注目が集まった。

また今回は、「第59回民放技術報告会(主催：一般社団法人日本民間放送連盟)」も同じく3年振りに国際会議場で開催され、7部門63セッションと特別企画1セッションが実施された。



INTER BEE EXPERIENCE X-Speaker

イベントホールに再び、大音響が鳴り響く
多くの期待に応えて3年振りのSRスピーカー体験



2014年のInter BEE 50回記念開催を機に始められたINTER BEE EXPERIENCE X-Speaker(SRスピーカー体験デモ)。始まりは1日のみの限定イベントだったが、その後に参加社参加製品も増加し、国内外著名ブランドのSRスピーカーによるワールドクラスの試聴会へと着実に歩みを進め、多方面からの高い評価をいただくものへと成長した。

2020年、2021年と休止を余儀なくされるなか、Inter BEEにおけるこの名物イベントを再開してほしいとの数多くの声が、ライブ音響業界をはじめとしてエンターテインメント関係業界の幅広い人たちから寄せられた。そして、2022年。数多くの来場者の期待に応えて、3年振りにイベントホールにEXPERIENCEが帰ってきた。

参加数は10ブランド11製品。休止直前の2019年の18製品よりは少なく、今回は2日間みの開催となったが、それでもいつものようにイベントホールの高い天井から吊り下げられたラインアレイスピーカーの列を眺めると、来場者はもちろんのこと、参加された各社のスタッフ、関係者の間にも待ちに待った期待感が高まる。

そして音が鳴り始める。ポイントソースやスタンド型ラインアレイは、その製品自体のコンパクトさからは思いも寄らぬ迫力と高音質のサウンドが響き、

2年間の空白の間にもSRスピーカーが進化していたことを感じさせる。一方でフライング設置された小型と中・大型のラインアレイは、それぞれに個性を發揮したさすがと感じさせる音だ。

2020年の春から始まったコロナ禍は、エンターテインメント産業界、特にライブエンターテインメントの分野において、これまで激しく猛威を振るった。音響関連においても、その間に収録やネット配信などに活路を見出し、その技術や手法を進化させるなど、思わぬシフトチェンジを促したとも言える。しかしこうして大きな空間の中で空気を振るわせ、耳ばかりでなく身体全体で受取る音を感じていると、あらためてライブを体験する楽しさ大切さを思い起こさせる。

来年2023年は、このX-Speakerという特別企画イベントが始まって、もしも途中で途切れずに回を重ねていけば10回目となる。それだけこのイベントが、Inter BEEのひとつの顔として支持されて来たということであり、また今回の復活は来年以降に向けた新たな再始動であると感じさせた。そして、もうひとつのEXPERIENCEであるヘッドフォン/マイクロフォンの試聴体験も、来年には再開するであろうとの予感と期待をもらしながら、今年のEXPERIENCEは盛況のうちに終了した。

INTER BEE CONNECTED

3年ぶりに幕張で多彩なセッションを開催。
放送と通信の垣根を超えた議論を行う。



INTER BEE CONNECTED の魅力は多彩なテーマのセッションだが、2020年、2021年とオンライン形式となっていた。2022年は3年ぶりに幕張のリアル会場セッションを開催。放送と通信の垣根を超えた様々なディスカッションに多くの聴講者が集まった。開催期間前、11月初旬にはオンラインでプレセッションを展開。Videographerと呼ばれる新世代の映像作家たちを扱ったセッションと、インフォメーション・ヘルス時代の報道をテーマにしたセッションを配信した。

16日の国際会議場での基調講演は新しい広告市場として注目される「コネクテッドTV」がテーマ。欧米の動向を丁寧に紹介し、新しいサービスの内容がよく理解できるセッションとなった。

17日、18日は3つずつのセッションをCONNECTED 会場ステージで展開した。17日の電通メディアインベーションラボを中心にした恒例のセッションではコロナ禍が人々のメディア生活を変えた最新データが披露された。スポーツ視聴をテーマにしたセッションではW杯の全試合配信で注目のABEMAをはじめ最前線の事例が解説された。"誰も取り残さない社会"を主題にしたセッションではメディアが取り組むべき社会課題をじっくり議論した。

18日はまず、世界で評価される韓国エンタメに学ぶセッション。日本と韓国をつなげるIPエンタメを議論した。ローカル局をテーマにしたセッションではあえて放送局以外の様々な立場の登壇者に、地域密着とは何かについてディスカッションしてもらった。最後のセッションでは放送局を飛び出して活躍するクリエイターたちに、作り手主役の時代について語ってもらった。

2014年にスタートした特別企画CONNECTEDだが、掲げてきた「放送と通信のCONNECT」もテレビ局共通の課題として定着し、実際に垣根を超えた様々なサービスが展開されるようになった。次は垣根を超えた先にある何かを探すべき時かもしれない。人々が放送に費やす時間が減って窮地にある放送業界だが、垣根の向こうにこそ、新たな成長の鍵があるだろう。新たなヒントが見つかる場として、CONNECTEDの次の展開が求められている。



INTER BEE IGNITION × DCEXPO

DCEXPOとの融合で新たなIGNITION：発火点に
メディアや分野の枠を超えて、先進のコンテンツ技術が集合



2016年から開始された特別企画INTER BEE IGNITION、2018年から同時開催が始まったDCEXPO(デジタルコンテンツEXPO：一般財団法人デジタルコンテンツ協会主催)。共にメディアやエンターテインメントの分野の枠に囚われない先進的な表現技術、コンテンツ技術を発信する場だが、その2つが融合し「INTER BEE IGNITION×DCEXPO」として実施された。

今回は、基調講演以外のすべてのセッションをオンラインで配信。基調講演では、先端テクノロジーによる未来社会の壮大な実験場になるであろう2025大阪・関西万博をテーマに、テーマ事業プロデューサーの落合陽一氏と会場運営プロデューサーの石川勝氏を迎え、万博計画を通じて構想されている「未来社会のデザイン」が語られた。また企画セッションでは、ポリュメトリックキャプチャ、メタバース、Web3、XRなどによる、先進コンテンツ技術やヴィジュアルテクノロジーの視点でこれからの社会とビジネスを考えるテーマが、プレセッションから本セッションへと数多く並んだ。またプレセッションでは、英語ピッチで国内外に発信しコメントバトルを行う「DCEXPO企画：TechBizピッチバトル」も行われた。

幕張メッセ会場では、INTER BEE IGNITION×DCEXPO出展の10ブースに加えて、DCEXPOの「Innovative Technologies 2022」8ブース、

「TechBiz：Technology Business Acceleration Program」8ブースの展示が行われた。ステージイベントでは、恒例の「先進映像協会ルミエール・ジャパン・アワード2022表彰式」のほか、出展者のデモンストレーションを実施。また企画イベントとして「EXPLORE NEW REALITIES(VRコンテンツ体験コーナー)」が設置され、HMDによるメタバースと先進VRが体験できるなど、3日間に渡って多くの来場者が詰め掛けた。

今回初めての試みとなったINTER BEE IGNITIONとDCEXPOの融合展開。日々進化する新しいテクノロジーを用いた表現やコンテンツが、メディアやネットの枠を超え、更にビジネスや社会、街や暮らしに浸透していくなか、その担い手であるクリエイターや制作会社、研究者にスポットライトを当てる本特別企画の役割が、益々広がっていると感じさせる場となった。



INTER BEE IP PAVILION

Inter BEE の会場で Media over IP が稼働 40社以上が参加する世界最大級の連携で、IP 接続環境が再現された



今回で5回目となるINTER BEE IP PAVILION。国内での放送局のIP化に向け、常にその最前線で最新の情報を発信し続けてきたこの特別企画だが、今年は昨年を上回る40社以上の企業/団体が参加する、企業間の垣根を越えた世界最大級の規模による連携を実現。そして、Inter BEEの会場内でIP接続環境を再現し実際に稼働させることにより、放送局におけるIPの初歩から導入を具体的に検討する技術者まで、Media over IPの実際を幅広い来場者に対して分かりやすく紹介する場を展開した。

今回の目玉は、参加した各企業が最新の機器を持ち込んで接続環境を実現したことはもちろんだが、その中では SMPTE 標準規格である ST2110 でほぼすべての機器を接続したという相互互換性の検証、NMOSによるメーカー間の垣根を越えた共通制御、映像の高圧縮規格 JPEG-XS による伝送での相互互換性などが、

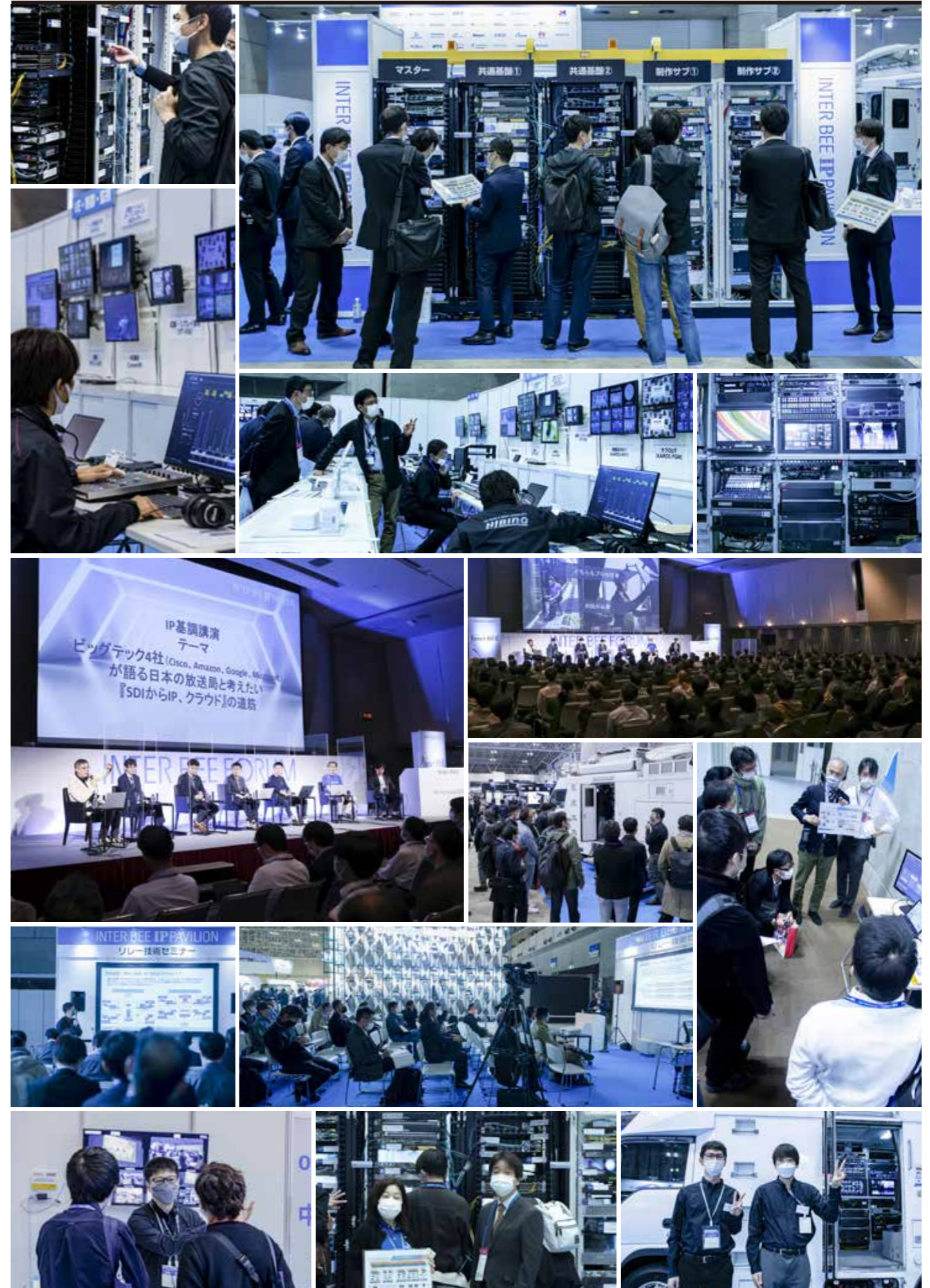
IP PAVILION内には、IP化によるリモート制作の特長を最大限に活かし、機器を一ヶ所に集めた「Media Operation Center: MOC」が構築され、大きな注目が集まった。また、実際のコンテンツ中継のデモとしては、Inter BEE 会場内の企画セッションオープンステージでのセッションを2K、4K、8Kの異なるメディアフォーマットで撮影し、それが混在してネットワークで送られ

るといことも行われた。

今回は初めての試みとしてブースツアーも行われ、IP PAVILIONの制作準備に携わられた方々がガイドとなって、より詳しい説明を交えてパビリオンを巡りながら Media over IP の実際を紹介。約200名の熱心な来場者にご参加をいただいた。

17日に行われたINTER BEE IP PAVILION基調講演では、Cisco、Amazon、Google、Microsoftの四大テック企業からの登壇者が同じステージに立ち、「ビッグテック4が日本の放送局と考える『SDIからIP、クラウド』の道筋」と題したセッションが行われた。それぞれのプレゼンテーション後に放送局側の登壇者が質問をするという形式で、世界有数のテック企業が考える放送局のIP化とクラウド活用が語られた。

また、放送局と企業というユーザー側とベンダー側の技術者が繋ぐ恒例のリレーセミナーも行われ、合計で25セッションを実施。「基本編」から「導入編」「応用編」と、IP化の段階に応じた多様な内容で展開された。



INTER BEE CREATIVE

国内でも活用段階に入ったバーチャルプロダクション制作の実例をテーマとしたセッションに、映像制作者の熱い視線



いまや世界の先進的な映像制作においては、欠くことのできない技術となったバーチャルプロダクション。国内でも昨年はバーチャルプロダクション元年とも言え、Inter BEE2021ではインカメラVFXのシステムを設置した、展示会で国内初の撮影デモンストレーションが行われた。それから1年が経過し、国内の映像制作においてもバーチャルプロダクションを用いて制作された作品事例が増えて来ている。今回のINTER BEE CREATIVEではそのような内外の情勢を踏まえ、現在の映像作品制作の最前線におけるバーチャルプロダクションをメインのテーマとした展開がされた。

基調講演では、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」のチーフ演出である吉田照幸氏を迎え、INTER BEE CREATIVEディレクターで同作品のVFXを担当した結城崇史氏と、撮影を終えたいま語られる挑戦秘話が披露された。また16日にオープンスターでは、VFX技術を活用して制作されたNHKの朝ドラ「舞いあがれ!」と、同じくNHKの土曜ドラマ「一橋桐子の犯罪日記」の制作陣が登場するそれぞれのセッションが行われた。そのほか、インカメラVFX撮影の主要技術であるLED SCREEN PROCESSのセッションや、最新技術とアナログテイストが融合された斬新な映像作品を作り出す、荒井風倫氏と杉田知洋江氏のセッションも行われた。

またステージセッション以外では、「バーチャルプロダクション展示 in Inter BEE & スタジオピッチプレゼン」が実施された。Inter BEE 2022の展示会場内で、インカメラVFXを中心としたバーチャルプロダクション関連機材を出展しているブースを案内するMAPを配布。国内で稼働するインカメラVFXスタジオ「清澄白河BASE」やXRスタジオ「n00b.st」のスタッフにより、それぞれのスタジオをアピールするピッチプレゼンも行われた。

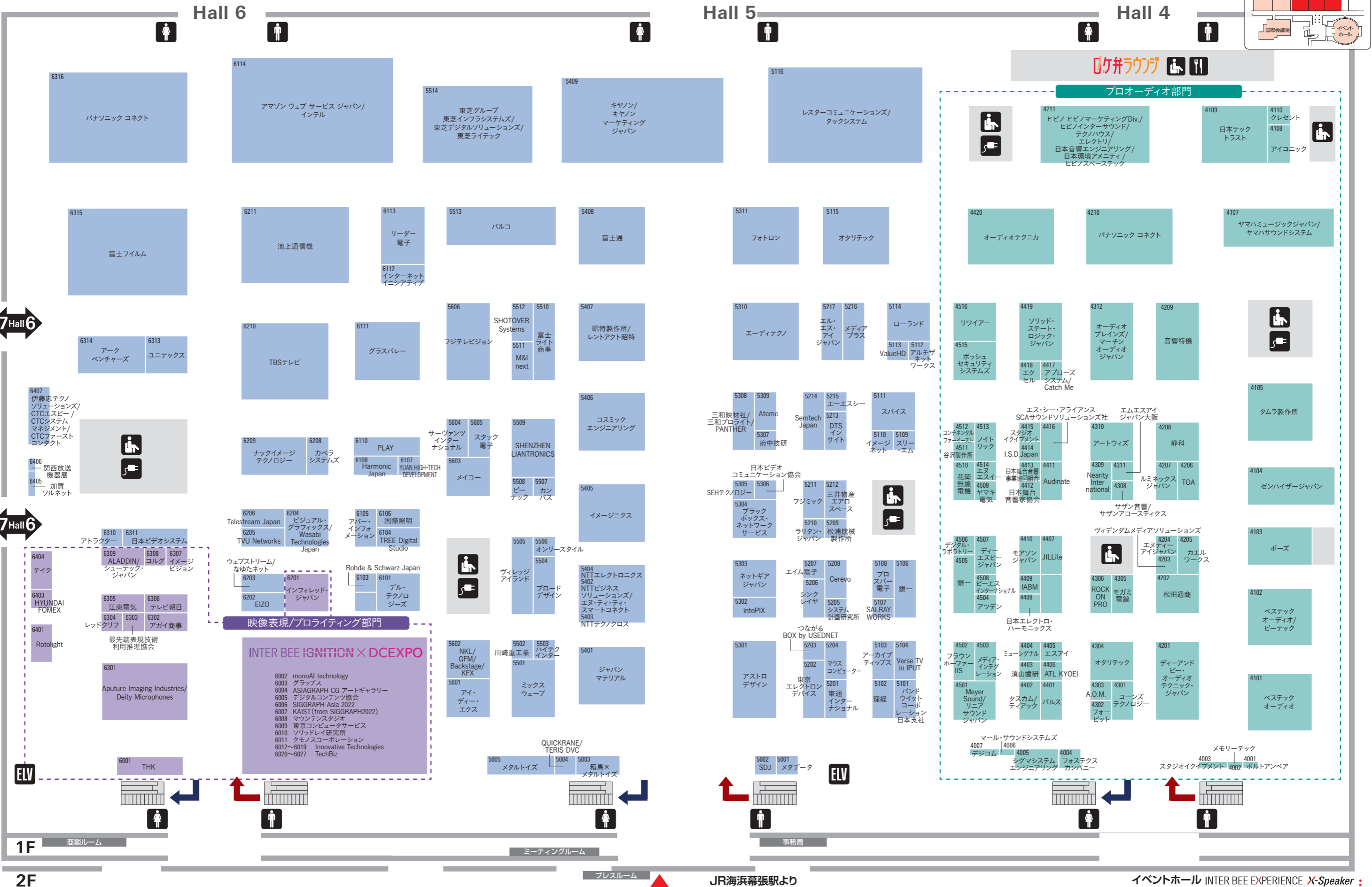
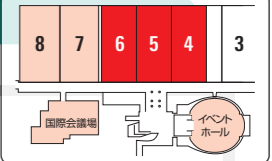
世界の映像制作現場で数多く用いられているバーチャルプロダクション技術は、ハイエンドの映像作品制作において次々と新たな扉を開いている。だが、国内でも活用段階に入っているとは言え、まだまだ制作数は限られているのが現状だ。今回のINTER BEE CREATIVEで披露された各制作現場での秘話や苦労話は、この場に集まった映像制作関係者に、バーチャルプロダクションへの多くのインスパイアを提供するものとなった。



映像表現/プロライティング部門

映像制作/放送関連機材部門

プロオーディオ部門



映像表現/プロライティング部門

INTER BEE IGNITION X DCXPO

- 6002 monoAI technology
- 6003 グラフス
- 6004 ASIAGRAPH CG アートギャラリー
- 6005 デジタルコンテンツ協会
- 6006 SIGGRAPH Asia 2022
- 6007 KAIST (from SIGGRAPH2022)
- 6008 マンテックスタジオ
- 6009 東京コンピュータサービス
- 6010 ソリッドレイ研究所
- 6011 クモノコーポレーション
- 6012~6019 Innovative Technologies
- 6020~6027 TechBiz

1F 商談ルーム

ミーティングルーム

事務局

プレスルーム

JR海浜幕張駅より

イベントホール INTER BEE EXPERIENCE X-Speaker

プロオーディオ部門	
4310 (株)アートウイズ	4409 IABM
4414 I.S.D.Japan(株)	4108 (株)アイコニック
4504 アツデン(株)	4417 アプローチシステム(株)
4203 ヴィデンダムメディアソリューションズ(株)	4303 A.O.M.(株)
4406 ATL-KYOEI	4418 エクセル(株)
4405 エスアイ(株)	4416 (株)エスシー・アリアンスSCAサウンドソリューションズ社
4514 (株)エヌエスイー	4204 エヌティーアイジャパン(株)
4311 (株)エムエスアイジャパン大阪	4211 (株)エレクトリ
4420 (株)オーディオテクニカ	4312 (株)オーディオブレインズ
4411 Audinate Pty, Ltd	4304 オタリテック(株)
4209 音響特機(株)	4205 (株)カエルワークス
4417 Catch Me(株)	4505 銀一(株)
4110 (株)クレセント	4301 コーンズテクノロジー(株)
4512 コンチネンタルファーマーイースト(株)	4308 (株)サザン音響/サザンアコースティクス
4005 (株)シグマシステムエンジニアリング	4208 (株)静科
4407 JILLite Inc.	4003 (株)スタジオイクイブメント
4415 (株)スタジオイクイブメント	4403 (株)須山歯研
4104 ゼンハイザージャパン(株)	4419 ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)
4402 タスカム/ティアック(株)	4511 (株)谷沢製作所
4105 (株)タムラ製作所	4201 ティーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン(株)
4507 ティーエスピージャパン(株)	4206 TOA(株)
4211 (株)テクノハウス	4007 (有)デジコム
4506 (株)デジタル・ラボラトリー	4309 Nearity International Co.,Limited
4408 日本エレクトロ・ハーモニクス(株)	4211 日本音響エンジニアリング(株)
4211 日本環境アメニティ(株)	4109 日本テックトラスト(株)
4412 公益社団法人日本舞台音響家協会	4413 日本舞台音響事業協同組合

4513 ノイトリック(株)	4510 花岡無線電機(株)	
4210 パナソニック コネクト(株)	4401 (有)パルス	
4508 ビーエスインターナショナル(株)	4211 ヒビノ(株)ヒビノマーケティングDiv.	
4211 ヒビノインターサウンド(株)	4211 ヒビノスペーステック(株)	
4302 (株)フォービット	4004 フォステクスカンパニー	
4502 フラウンホーファー IIS	4101 ベステックオーディオ(株)	
4102 ベステックオーディオ(株)/ピーテック(株)	4103 ボーズ合同会社	
4515 ボッシュセキュリティシステムズ(株)	4001 (有)ポルトアンペア	
4312 (株)マーチンオーディオジャパン	4006 マール・サウンドシステムズ	
4202 松田通商(株)	4404 (株)ミュージナル	
4501 Meyer Sound	4503 (株)メディア・インテグレーション	
4002 メモリーテック(株)	4410 (株)モアソンジャパン	
4305 モガミ電線(株)	4509 ヤマキ電気(株)	
4107 ヤマハサウンドシステム(株)	4107 (株)ヤマハミュージックジャパン	
4501 リニアサウンドジャパン合同会社	4516 リワイアー(株)	
4207 ルミネックスジャパン(株)	4306 ROCK ON PRO	
INTER BEE EXPERIENCE		
4205 (株)カエルワークス	4201 ティーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン(株)	
4210 パナソニック コネクト(株)	4211 ヒビノ(株)	
4102 ベステックオーディオ(株)	4103 ボーズ合同会社	
4515 ボッシュセキュリティシステムズ(株)	4312 (株)マーチンオーディオジャパン	
4516 リワイアー(株)	映像制作/放送関連機材部門	
5103 アーカイブティップス(株)	6314 アークベンチャーズ(株)	
5601 (株)アイ・ディー・エクス	7203 (株)アイ・ディ・ケイ	
7104 (株)アサカ	7517 (株)浅沼商会	
5301 アストロデザイン(株)	8501 アスヒラク/MIM	
6310 (株)アトラクター	8104 Atlas Lens Co.	

6105 アバー・インフォメーション(株)	8302 アビッドテクノロジー(株)
8407 (株)アブコット	6114 アマゾンウェブサービスジャパン合同会社
5112 (株)アルチザネットワークス	7203 (株)アルバニクス
8404 (株)アルモア	6211 池上通信機(株)
7516 (株)石川トランク製作所	7205 伊藤忠ケーブルシステム(株)
6407 伊藤忠テクノソリューションズ(株)	5405 イメージニクス(株)
5110 (株)イメージネット	8205 (株)INZEN
6112 (株)インターネットイニシアティブ	8406 (株)インテリジェント ウェイブ
6114 インテル(株)	5302 intoPIX sa
8106 Innerspace Cases	7514 VANLINKS(株)
8504 ヴィデンダムプロダクションソリューションズ(株)	5505 (株)ヴィレッジアイランド
8211 ウェスタンデジタル合同会社	6203 (株)ウェブストリーム
8304 (株)内田洋行	8501 AJA
6202 EIZO(株)	5309 Ateme
8313 営電(株)	8409 ATENジャパン(株)
8308 合同会社エイドス	5207 エイム電子(株)
5215 (株)エーエスシー	8113 エーティ コミュニケーションズ(株)
5310 (株)エーディテクノ	5305 SEHテクノロジー
8315 SET(ブラジルテレビ技術協会)	5002 SDJ(株)
7206 NEC	8204 NECネットエスアイ
8002 エヌ・イー・ピー(株)	8114 (株)NHKエンタープライズ
8115 (株)NHKテクノロジー	8116 NHK/JEITA
8110 NAB (National Association of Broadcasters)	5602 (株)NKL
8501 NDI Central	5404 NTTエレクトロニクス(株)
5402 エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト(株)	5403 NTTテクノクロス(株)
5402 NTTビジネスソリューションズ(株)	8204 エフ・アイ・ティー・パシフィック(株)
5511 M&Inext	

5217 エル・エス・アイ ジャパン(株)	8408 (株)エルゲンベンチャーズ
8102 (株)おいぬビジョン	8303 OWC Asia Inc
8213 (株)オーディオストック	5115 オタリテック(株)
5506 オンリースタイル	6405 加賀ソルネット(株)
8201 カナレ電気(株)	6208 カベラシステムズ
5502 川崎重工業(株)	6406 関西放送機器展
8402 (株)ガンスイ	5507 (株)カンパス
5409 キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株)	5106 銀一(株)
5004 QUICKRANE/TERIS(株)DVC	7515 (株)クープ
8309 クオンプラス(株)	6111 グラスバレー(株)
5602 Grip Factory Munich GmbH	8109 クロスイメージング(株)
6207 (株)グリップ	5602 KFX Technology
8316 (株)ケンコー・トキナー	8316 (株)ケンコープロフェッショナルイメージング
6106 国際照明(株)	5406 (株)コスミックエンジニアリング
8212 KOBAL 2023 (KOREA E & EX)	8202 (株)コムワークス
5604 サーヴァンツインターナショナル(株)	8208 (株)サイトロンジャパン
7309 さくら映機(株)	5107 SALRAYWORKS Inc.
8215 三信電気(株)	5308 (株)三和映材社/(株)三和プロライト
6407 CTCエスピー(株)	6407 CTCシステムマネジメント(株)
6407 CTCファーストコンタクト(株)	8112 Shenzhen Hollyland Technology Co., Ltd.
5509 SHENZHEN LIANTRONICS CO.,LTD.	8107 Shenzhen Lakeview Electronics Co., Ltd.
8502 (株)シグマ	5205 (株)システム計画研究所
7412 (株)シナジー	8305 ジャパンブロードキャストソリューションズ(株)
5401 ジャパンマテリアル(株)	8105 JUNS(株)
5407 (株)昭特製作所	5512 SHOTOVER Systems
7102 (株)Synk	5206 シンクレイヤ(株)

7410 (株)スガイエンタープライズ	5605 スタック電子(株)
5111 (株)スパイス	8312 住友電気工業(株)
5109 (株)スリー・エム	8316 スリック(株)
8403 (株)精工技研	8311 セイコーソリューションズ(株)
8301 摂津金属工業(株)	5214 Semtech Japan G.K.
5208 (株)Cerevo	7415 ソニーマーケティング(株)
7416 ソニーマーケティング(株)	8307 ダイナコムウェア(株)
5116 タックシステム(株)	5203 つながるBOX by USEDNET
6104 (株)TREE Digital Studio	6210 (株)TBSテレビ
6205 TVU Networks	5213 (株)DTSインサイト
8206 (株)テクニカルファーム	8306 (株)テクノハウス
8405 デジキャス合同会社	6101 デル・テクノロジーズ(株)
6206 Telestream Japan 合同会社	8111 Densitron
8310 一般社団法人電波産業会	7518 (株)Too
5202 東京エレクトロン デバイス(株)	5514 東芝インフラシステムズ(株)
5514 東芝デジタルソリューションズ(株)	5514 東芝ライテック(株)
5201 (株)東通インターナショナル	7307 (株)トラフィック・シム
6209 (株)ナックイメージテクノロジー	8103 Nash Music Library
6203 (株)なゆたネット	7310 NANLITE&NANLUX
7408 (株)ニコン	8411 ニッキャビ(株)/(有)プランネット
7103 日鉄溶接工業(株)	8401 日本サムスン(株)
7414 日本シーゲイト(株)	8209 日本通信機(株)
5306 特定非営利法人日本ビデオコミュニケーション協会	6311 (株)日本ビデオシステム
8101 日本無線(株)	8501 NewTek
5303 ネットギアジャパン	6108 Harmonic Japan 合同会社
7308 (株)バイオス	5503 ハイテクインター(株)
5003 箱馬×メタルトイズ	

5602 Backstage Equipment, Inc.	6316 パナソニック コネクト(株)
5113 ValueHD Corporation	5513 パルコ(株)
5308 PANTHER GmbH	5101 バンドウィットコーポレーション日本支社
5508 (株)ピーテック	6204 ビジュアル・グラフィックス(株)
7311 (株)日立国際電気	8503 ビデオトロン(株)
8306 ヒビノ(株)	5311 (株)フォトロン
5408 富士通(株)	5606 (株)フジテレビジョン
6315 富士フイルム(株)	5211 (株)フジミック
5510 富士ライト商事(株)	5307 (株)府中技研
8207 (株)芙蓉ビデオエイジェンシー	5304 ブラックボックス・ネットワークサービス(株)
8317 ブラックマジックデザイン(株)	6110 (株)PLAY
5504 ブロードデザイン(株)	8410 Broadpeak
5108 (株)プロスパー電子	7204 平和精機工業(株)
8001 (株)放送技研	5204 (株)マウスコンピューター
5209 (株)松浦機械製作所	7517 マルミ光機(株)
5212 三井物産エアロスペース(株)	5501 ミックスウェーブ(株)
7413 ミナル通信(株)	8108 武蔵(株)
5603 (株)メイコー	5001 合同会社メタデータ
5216 (株)メディアプラス	5216 (株)メディアプラス
8314 (株)メディアリンクス	7515 メモリーテック(株)
6107 YUAN HIGH-TECH DEVELOPMENT CO., LTD.	6313 (株)ユニテックス
8412 LiveU Japan(株)	7101 (株)ラグナヒルズ/DATATON AB
5210 ラリタン・ジャパン(株)	6113 リーダー電子(株)
8210 Riedel Communications GmbH & Co. KG	5102 (株)理経
7411 (株)RIP-TIE	8203 ルーメン・テクノロジーズ(株)
7202 (株)RAID	5116 (株)レスターコミュニケーションズ

5407 (株)レントアクト昭特	6103 Rohde & Schwarz Japan KK
5114 ローランド(株)	6204 Wasabi Technologies Japan
ICT/クロスメディア部門	
7407 (株)アスカラボ	7507 エクスグランズウェル(株)
7306 (株)エクスペローラ	7405 (株)エヌジーシー
7305 KKCompany Japan合同会社	7403 SoundUD推進コンソーシアム
7301 シスコンシステムズ合同会社	7508 Zukunft Works Ltd
7511 (株)中京エレクトロン	7406 (株)データロード
7302 (株)デジオン	7401 徳島県
7404 (株)トップ・クリエイション	7512 (株)TOMODY
7405 日本クアンタムストレージ(株)	7502 日本デジタル・プロセッシング・システムズ(株)
7201 日本マイクロソフト(株)	7303 ネットワークエレクトロニクスジャパン(株)
7513 (株)ファイバーネットワーク	7402 Fastly(株)
7401 (株)ブラットイーズ	7401 (株)ブラットワークス
7304 (株)MAGENCY	7503 Magewell
7510 MainConcept	7001 MEDIAEDGE(株)
7509 MEDIAEDGE(株)	7501 (株)メディアキャスト
INTER BEE CONNECTED	
7010 一般社団法人IPTVフォーラム	7007 (株)オルカプロダクション
7004 (株)Jストリーム	7005 (株)Jストリーム
7009 JEITA テープストレージ専門委員会	7003 New Relic(株)
7006 北陸電話工事(株)	7002 マルチスクリーン型放送研究会
映像表現/プロライティング部門	
6302 アガイ商事(株)	6301 Aputure Imaging Industries Co., Ltd.
6309 ALADDIN	6307 イメージビジョン(株)
6201 インフィレッド・ジャパン(株)	6305 江東電気(株)
6308 (株)コルグ	6303 一般財団法人最先端表現技術利用推進協会
6309 (株)シューテック・ジャパン	6001 THK(株)

6404 (株)テイク	6301 Deity Microphones
6306 (株)テレビ朝日	6403 HYUNDAI FOMEX CO., LTD.
6401 Rotolight	6004 ASIAGRAPH CG アートギャラリー
6007 KAIST (from SIGGRAPH2022)	6011 クモノスコポレーション(株)
6003 (株)グラッパス	6006 SIGGRAPH Asia 2022
6010 (株)ソリッドレイ研究所	6005 一般財団法人デジタルコンテンツ協会
6009 東京コンピュータサービス(株)	6008 (株)マウンテンスタジオ
6002 monoAI technology(株)	6017 (株)積彩
6013 キリンホールディングス(株)/明治大学	6016 慶應義塾大学理工学部 牛場潤一研究室/ 研究成果活用企業(株)LIFESCAPES
6012 (株)Qosmo	6018 (株)Shiftall
6015 東京大学院情報理工学系研究科 竹内・森本研究室	6019 (株)博報堂「Human X」/(株)invisi/ 東京大学院准教授 鳴海拓志/ (株)博報堂プロダクツ
6014 法政大学/東京大学/明治大学	6023 (株)アロマジョイン
6026 (株)xCura	6020 (株)X
6025 (株)ジョリーグッド	6021 (株)DENDOH
6022 レイフセダ(株)	6024 (株)ワンアーカー
オンライン限定出展	
プロオーディオ部門	
MQA LTD.	(株)TBSラジオ
(株)K-WILL	
ICT/クロスメディア部門	
グーグル・クラウド・ジャパン合同会社	

INTER BEE FORUM

11月16日(水)

KN-162 13:00 ▶ 14:30 国際会議室 INTER BEE CONNECTED 基調講演

コネクテッドTVとリニア配信サービスの最新海外事情から見てくる“メディアの本質”

パネリスト
 株式会社TBSテレビ メディア企画室 上級専門職 薄井 裕介氏
 MediaTech ELSI R&D 代表 園田 公一氏
 株式会社TBSテレビ メディア企画室 担当部長 高澤 宏昌氏
 日本放送協会 放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹 村上 圭子氏

KN-163 15:30 ▶ 17:00 国際会議室 音響部門基調講演

新しい音創りへのチャレンジ! 2022

パネリスト
 株式会社dream window 代表取締役社長 深田 晃氏
 朝日放送テレビ株式会社 技術局付プロフェッショナル/出向 株式会社アイネックス 和三 晃章氏
 Netflix プロダクション・テクノロジー部門 サウンドスペシャリスト 高原 シンディ氏
 株式会社セガ ゲームコンテンツ&サービス 事業本部 技術本部 開発技術部 塚越 晋氏
 株式会社テレビ朝日 技術局 設備センター 阿部 健彦氏

SP-161 10:30 ▶ 12:00 201会議室 特別講演

Z世代エンジニアたちが懸ける放送業界の未来

パネリスト
 株式会社TBSテレビ ICT局 長島 達哉氏
 NAXA株式会社 代表取締役 占部 凌平氏
 NAXA株式会社 取締役 中村 将也氏
 合同会社江口靖二事務所 一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 江口 靖二氏

SP-162 13:00 ▶ 14:30 201会議室 特別講演

先進映像協会アドバンスト・イメージング・ユニバーシティ 2022

ルミエール・ジャパン・アワード2022受賞者登壇

パネリスト
 先進映像協会 プレジデント ジム チャピン氏 ※ビデオトーク
 先進映像協会 日本部会長 河合 隆史氏

SP-163 15:00 ▶ 16:00 201会議室 特別講演

英国の公共サービス放送とDVB規格の議論と動向

パネリスト
 MediaTech ELSI R&D 代表 園田 公一氏
 BBC 放送通訳/科学ジャーナリスト 清水 健氏
 月刊ニューメディア 編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇氏

SP-164 16:20 ▶ 17:50 201会議室 特別講演

DCEXPO企画：テクノロジーが変えるダイバーシティの未来

パネリスト
 CYBERDYNE株式会社 代表取締役社長/CEO 山海 嘉之氏
 株式会社フットゥーテン 代表取締役社長 CEO 澤邊 芳明氏
 筋ジストロフィーを抱え歌う BEYOND GIRLS 代表 小澤 綾子氏
 株式会社電通サイエンスジャム 主席研究員 狛野 幹人氏

11月17日(木)

KN-171 10:30 ▶ 12:10 国際会議室 基調講演

IPTV Forum コネクテッドTV 一国内サービスの現状とこれから

基調講演:
 「放送コンテンツのネット配信の推進」
 総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 課長 井田 俊輔氏
 基調講演:Digital Native Media/ Infrastructureへの進化
 一般社団法人IPTVフォーラム 代表理事 江崎 浩氏

パネルディスカッション:コネクテッドTV一国内サービスの現状とこれから

モデレーター
 日本放送協会 放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹 村上 圭子氏
 パネリスト
 総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 課長 井田 俊輔氏
 株式会社TVer 取締役 須賀 久彌氏
 日本放送協会 メディア総局 デジタルセンター長 西村 規子氏

TVerの現状とこれから **NHKプラスの現状とこれから**

パネリスト
 株式会社TVer 取締役 須賀 久彌氏
 日本放送協会 メディア総局 デジタルセンター長 西村 規子氏

KN-172 13:00 ▶ 14:00 国際会議室 基調講演

A-PABトークセッション「Z世代にもわかる!新4K8K衛星放送の魅力」

ゲスト
 NHK|NABE|BUGYOZ、NTV系「超無敵クラス」レギュラー出演 NTV系「ズームイン!!サタデー」お天気キャスター、ほか多数出演中 国本 梨紗氏
 コメンテーター
 青山学院大学 総合文化政策学部 教授 内山 隆氏

KN-173 15:30 ▶ 17:00 国際会議室 INTER BEE IP PAVILION 基調講演

ビッグテック4 (Cisco, Amazon, Google, Microsoft) が日本の放送局と考える『SDIからIP、クラウド』の道筋

プレセーター
 シスコスシステムズ合同会社 データセンターネットワーク開発部門 プロダクトマネージャー/アジア 下川 洋平氏
 日本マイクロソフト株式会社 カスタマーサクセス事業本部 シニア クラウドソリューションアーキテクト 畠山 大有氏
 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 事業開発マネージャー (メディア・エンターテインメント) 山口 賢人氏
 グーグルクラウド・ジャパン合同会社 カスタマーエンジニア 段野 祐一郎氏
 質問者
 日本放送協会 技術局 システムソリューションセンター 新井 一之氏
 株式会社 静岡第一テレビ 技術局 プロデューサー 中濱 央友氏
 モデレーター
 月刊ニューメディア 編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇氏

SP-171 10:30 ▶ 11:10 201会議室 特別講演

「Virtual NHK」～メタバースを活用した番組制作

パネリスト
 日本放送協会 メディア総局メディア開発企画センター 高木 市教氏
 月刊ニューメディア 編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇氏

SP-172 12:00 ▶ 13:00 201会議室 特別講演

放送・映像制作業務がサステナブルであるために

スピーカー
 日本マイクロソフト株式会社 パートナー事業本部 / クラウドソリューションアーキテクト 大川 高志氏

SP-173 13:30 ▶ 18:00 201会議室 特別講演

DCEXPO企画：Japan VR Fest 開発者会議

パネリスト
 VR, AR, メタバースの最前線にいる 開発者達が、それぞれの考え、ノウハウ、未来を話してもらう登壇大会です。
 株式会社桜花一門 代表取締役社長 高橋 建彦氏

11月18日(金)

KN-181 10:30 ▶ 11:30 国際会議室 INTER BEE CREATIVE 基調講演

大河ドラマの撮影を終えて想うこと「鎌倉殿の13人」の挑戦秘話をここに語る!

パネリスト
 日本放送協会 第3制作センター(ドラマ) 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」チーフ演出 吉田 照幸氏
 進行
 INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

KN-182 13:00 ▶ 14:00 国際会議室 INTER BEE IGNITION x DCEXPO 基調講演

2025大阪・関西万博が描く未来社会と先端テクノロジー

パネリスト
 メディアアーティスト (大阪・関西万博の企画) 落合 陽一氏
 プランナー、プロデューサー 株式会社シンクコミュニケーションズ 代表取締役 (大阪・関西万博 企画) プロデューサー 石川 勝氏
 モデレーター
 株式会社角川アスキー 総合研究所 主席研究員 (MITI/COE/産学連携) (ASCI STARTUP/スタートアップバイザー) 遠藤 諭氏

KN-183 14:30 ▶ 16:00 国際会議室 基調講演

放送メディアのパラダイムシフト：参加型デジタル空間による新たな価値・多様性の創生!!

基調講演
 「メタバースの本質、その成立と展開」
 東京大学 生産技術研究所 特任教授 三宅 陽一郎氏
 テレポータル株式会社 代表 平野 友康氏
 「“better”プロジェクト」の中核 “Teleport”開発とその利活用

「メタバース空間によるアカデミーキャンプ」の実践とその可能性 **「糸島サイエンスヴィレッジ」における多様なコミュニティ空間の実現**

パネリスト
 早稲田大学 大学院経営管理研究科 教授 斉藤 賢爾氏
 九州大学 グローバルイノベーションセンター 部門長・教授 原田 裕一氏

「5G技術による様々な出会い・文化を育むコミュニケーション」

パネリスト
 株式会社ピットメディア 代表取締役社長 高野 雅晴氏
 女子美術大学 非常勤講師 クリエイティブ・メディアアーキテクト 公益社団法人 全国公益施設協会 コーディネーター (株)トリビアフリューム 代表取締役社長 国重 静司氏

SP-181 10:30 ▶ 11:30 201会議室 特別講演

ラジオの向こうに何があるのか?!

パネリスト
 大正大学 表現学部 教授 川喜田 尚氏
 株式会社オトナル 代表取締役 八木 太亮氏
 株式会社MBSラジオ [MBSヤングタウン]プロデューサー 大沼 耕平氏
 モデレーター
 上智大学 新聞学 教授 音 好宏氏

SP-182 13:00 ▶ 14:30 201会議室 特別講演

ウクライナ侵攻とデジタル空間の秩序構築における放送局の役割

協力:デジタル政策フォーラム

パネリスト
 スローニュース株式会社 社長 瀬尾 傑氏
 青山学院大学 総合文化政策学部 教授 内山 隆氏
 モデレーター
 東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院 准教授 西田 亮介氏
 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 特任教授 菊池 尚人氏

SP-183 15:00 ▶ 16:30 201会議室 特別講演

マイクロフォン製作者が語る「マイクロフォン開発の歴史と今後の戦略」

パネリスト
 Sennheiser electronic GmbH & Co.KG Technical Application Engineering, Pro Audio Business Unit Manager, Technical Application Engineering Volker Schmitt (フォルカー・シュミット)氏
 ゼンハイザージャパン株式会社 代表取締役 宮脇 精一氏
 SHURE INCORPORATED Associate Director, Global Product Management Michael Johns (マイケル・ジョンズ)氏
 ショア・ジャパン株式会社 プロオーディオ部門 ディレクター 沢口 宙也氏
 モデレーター
 ソニー株式会社 イメージングプロダクツ&ソリューション事業本部 商品技術センター 商品設計第2部門 プラットフォーム設計課 オペイプロダクツエンジニア 村上 佳裕氏
 株式会社テレビ朝日 技術局 設備センター 阿部 健彦氏

出展者オンラインセミナー

10:00 ▶ 11:00 ES1-101

変革する放送 / メディアと Google Cloud

パネリスト
 グーグルクラウド・ジャパン 合同会社 シニア アカウント エグゼクティブ 公文 象二郎氏

11:30 ▶ 12:30 ES2-101

TVerにおけるインターネット配信の視聴体験とパフォーマンス安定化への取り組み

パネリスト
 New Relic株式会社 技術統括 コンサルティング部 ソリューションコンサルタント 古垣 智裕氏
 株式会社TVer サービス事業本部 技術開発部 リードエンジニア 加我 貴志氏

13:00 ▶ 13:30 ES1-103

放送IP化を実現する最新テクノロジー・ソリューションのご紹介

パネリスト
 ソニー株式会社 イメージングプロダクツ&ソリューション事業本部 メディアソリューション事業部 メディアソリューション設計部 統括部長 金田 瑞規氏
 シスコスシステムズ合同会社 データセンターネットワーク開発 デジタルマーケティング プロダクトマネージャー 下川 洋平氏

13:00 ▶ 14:00 ES2-103

アドビビデオ関連製品と Adobe Stockの最新情報

パネリスト
 アドビ株式会社 マーケティング本部 マーケティングマネージャー 田中 玲子氏
 アドビ株式会社 デジタルメディア事業統括本部 営業戦略部 GTM マネージャー 大木 慧氏

14:30 ▶ 15:30 ES1-104

次世代のOTT配信

パネリスト
 Ateame ビデオ配信ソリューション バイスプレジデント Alexandre Arnodin氏

10:00 ▶ 11:00 ES1-201

Google の D2C ソリューション

パネリスト
 グーグルクラウド・ジャパン 合同会社 カスタマー エンジニア 段野 祐一郎氏

14:30 ▶ 15:30 ES1-204

～【アムステルダム発】ビデオストリーミング 配信技術の最新トレンド～ “Virtual Channels” : VOD資産を再利用するライブ配信技術「VOD2Live」を使うメリット

パネリスト
 株式会社オルカプロダクション 代表取締役 北沢 至氏
 Unified Streaming社 CEO Dirk Griffioen氏

14:30 ▶ 15:30 ES2-204

MQAは進化し続ける

パネリスト
 MQA Ltd. 最高技術責任者 ポブ・スチュアート氏

同時開催

第59回開放技術報告会

- ▶ 幕張メッセ国際会議場3階
- ▶ 主催・企画：一般社団法人日本民間放送連盟 (JBA)

	第1会場 [301]	第2会場 [302]	第3会場 [303]
11月16日 (水)	10:30 ▶ 15:10 制作技術部門	10:30 ▶ 15:10 CG・コンピュータビジョン部門	10:30 ▶ 16:00 送出・配信部門
11月17日 (木)		10:30 ▶ 11:20 回線・伝送部門	10:30 ▶ 12:35 ラジオ・音声部門
11月18日 (金)	10:30 ▶ 14:45 制作技術部門	特別企画 14:00 ▶ 16:30 ファイルベースの“これまで”と“これから”～テープからディスク、メモリ、クラウドへ～ 10:30 ▶ 12:35 送信部門 13:30 ▶ 15:35 データ放送・放送通信連携・アクセスビリティ部門	10:30 ▶ 15:10 送出・配信部門

全映協フォーラム 2022 in 幕張

▶ フォーラム：国際会議場1階 [101]
 ▶ 大懇親会：国際会議場1階 [多目的室]
 ▶ 主催：一般社団法人 全国地域映像団体協議会

11月17日 (木)	14:30 ▶ 14:40	開会挨拶
	14:40 ▶ 15:10	経済産業省プレゼンテーション
	15:10 ▶ 15:20	休憩
	15:20 ▶ 15:50	総務省プレゼンテーション
	15:50 ▶ 16:00	休憩
	16:00 ▶ 17:00	全映協グランプリ2022 結果発表・表彰式

INTER BEE EXPERIENCE

X-Speaker SRスピーカー体験デモ

▶会場：イベントホール

11月17日(木) 10:00 開場	
10:30	RAMSA WS-HM5000シリーズ パナソニック コネクト株式会社
11:10	TW AUDIO ELLA-SYS 株式会社カエルワークス
11:50	Electro-Voice MFXマルチファンクションモニタースピーカー ポッシュセキュリティシステムズ株式会社
12:30	ADAMSON S-SERIES S10n リワイアー株式会社
13:10	RAMSA WS-LA500Aシリーズ パナソニック コネクト株式会社
13:50	JBL VTX A8 system ヒビノ株式会社
14:30	CLAIR COHESION SERIES CO12 リワイアー株式会社
15:10	M Wavefront Precision Optimised Line Arrays 株式会社マーチンオーディオジャパン
15:50	d&b audiotechnik SL-Series XSL8 / XSL12 / XSL-SUB ディーアンドピー・オーディオテック・ジャパン株式会社
16:30	K3 ベストックオーディオ株式会社
17:10	BOSE L1 Pro Portable Line Array Systems ボーズ合同会社
17:50 閉場	

11月18日(金) 10:00 開場	
10:30	CLAIR COHESION SERIES CO12 リワイアー株式会社
11:10	M Wavefront Precision Optimised Line Arrays 株式会社マーチンオーディオジャパン
11:50	d&b audiotechnik SL-Series XSL8 / XSL12 / XSL-SUB ディーアンドピー・オーディオテック・ジャパン株式会社
12:30	K3 ベストックオーディオ株式会社
13:10	RAMSA WS-HM5000シリーズ パナソニック コネクト株式会社
13:50	TW AUDIO ELLA-SYS 株式会社カエルワークス
14:30	Electro-Voice MFXマルチファンクションモニタースピーカー ポッシュセキュリティシステムズ株式会社
15:10	ADAMSON S-SERIES S10n リワイアー株式会社
15:50	RAMSA WS-LA500Aシリーズ パナソニック コネクト株式会社
16:30	JBL VTX A8 system ヒビノ株式会社
17:10	BOSE L1 Pro Portable Line Array Systems ボーズ合同会社
17:50 閉場	

ポイントソーススピーカー / スタンド型ラインアレイスピーカー

小型ラインアレイスピーカー

中・大型ラインアレイスピーカー

◆機材協力:リワイアー株式会社 / 株式会社カエルワークス / 株式会社マーチンオーディオジャパン

INTER BEE CREATIVE

基調講演 ▶会場：国際会議場 国際会議室

11月18日(金)

KN-181 10:30 ▶ 11:30 INTER BEE CREATIVE 基調講演

大河ドラマの撮影を終えて想うこと
「鎌倉殿の13人」の挑戦秘話をここに語る！

スピーカー

日本放送協会 第3制作センター(ドラマ) 大河ドラマ「鎌倉殿の13人」チーフ演出
吉田 照幸氏

INTER BEE CREATIVE ディレクター
結城 崇史氏

企画セッション ▶会場：展示ホール7 オープンステージ

11月16日(水)

CR-161 10:30 ▶ 11:30

ヒロインはどうやって空を飛んだのか？
NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」の現場から

スピーカー

NHK大阪放送局 コンテンツセンター第3部(ドラマ) NHK連続テレビ小説「舞いあがれ！」制作統括
熊野 律時氏

NHK大阪放送局 コンテンツセンター第1部(映像・番組) チーフリード
高橋 佳宏氏

INTER BEE CREATIVE ディレクター **結城 崇史氏**

CR-162 12:00 ▶ 13:00

LEDを使用した撮影の現在地～LED SCREEN PROCESSの利用について

スピーカー

セカンドステージ株式会社 Sales Manager
岩名 俊氏

CR-163 13:30 ▶ 14:30

“本物”or“偽物”？VFX技術を使った新たな映像表現
土曜ドラマ「橋桐子の犯罪日記」

スピーカー

株式会社オムニバス・ジャパン プロデュース統括部 ラインプロデューサー
鈴谷 亜紀子氏

NHKエンタープライズ株式会社 ドラマ部 チーフプロデューサー
宇佐川 隆史氏

INTER BEE CREATIVE ディレクター **結城 崇史氏**

CR-164 15:00 ▶ 16:00

検証と実験で練り上げる映像クリエイティブ

出演

映像作家 **新井 風倫氏**

フォトグラファー **杉田 知洋江氏**

進行

編集者 / 五光社 **荒井 努氏**

■バーチャルプロダクション展示 in Inter BEE & スタジオピッチプレゼン ▶会場：展示ホール7

インカメラVFXを中心とした、バーチャルプロダクション関連機材(LEDウォール、カメラ、スタジオ機材等)を出展しているブースをまとめたMAPの配布や、国内のインカメラVFXスタジオ、「清澄白河BASE」や「n00b.st」の担当者によるピッチプレゼンを実施しました。

11月16日(水) 16:00～17:30
n00b.st(スタジオ ヌーブ) ピッチプレゼン

11月17日(木) 15:30～16:15
「バーチャルプロダクションの未来」トークセッション
清澄白河 BASE / INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史氏

11月18日(金) 15:30～17:00
清澄白河 BASE ピッチプレゼン

INTER BEE CONNECTED

基調講演 ▶会場：国際会議場 国際会議室

11月16日(水)

KN-162 13:00 ▶ 14:30 INTER BEE CONNECTED 基調講演

コネクテッドTVとリニア配信サービスの最新海外事情から見てくる“メディアの本質”

モデレーター

日本放送協会 放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹
村上 圭子氏

パネリスト

株式会社TBSテレビ メディア企画室 上級専門員
薄井 裕介氏

MediaTech ELSI R&D 代表
園田 公一氏

株式会社TBSテレビ メディア企画室 担当部長
高澤 宏昌氏

企画セッション ▶会場：展示ホール7 企画セッションオープンステージ

11月17日(木)

CN-171 コロナ時代の新しいメディアライフスタイルとは

2022年現在、人々の生活行動の全体像を捉えることは困難になっている。コロナ禍以前の生活への回帰ははかられる一方、一部では在宅勤務などの新しい生活様式の定着が見られるため。そこで電通とビデオリサーチは、MCR/ex生活行動データを用いたソーシャル・シークエンス分析によって生活時間の流れにおける行動パターンを類型化した。コロナ禍前後の3時点の分析を通してコロナ禍の生活行動・メディア利用行動の変化や定着度合いが明らかになった。本セッションでは分析結果の紹介とディスカッションを通して、生活行動とメディア利用行動の最新トレンドに迫りました。

モデレーター

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ 統括責任者 電通総研 フェロー
奥 律哉氏

パネリスト

株式会社ビデオリサーチ ひと研究所 主任研究員
渡辺 庸人氏

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ 主任研究員
森下 真理子氏

CN-172 サッカーW杯直前！かわるスポーツ視聴

11月20日開幕のサッカーW杯カタール大会をAbemaが全試合「配信」する。かつては地上波放送の独壇場だったスポーツ中継だったが、多チャンネル化や通信技術の向上で、いまは様々な視聴方法が提供されるようになった。W杯開幕直前のいま、これまでのスポーツ視聴の変化をその当事者に語ってもらい、まだまだ進化・深化するこれからのスポーツ視聴の可能性を探りました。

モデレーター

株式会社ODYSSEY 代表取締役 元朝日放送アナウンサー
平岩 康佑氏

パネリスト

株式会社AbemaTV 編成制作本部スポーツエンタメ局 局長
塚本 泰隆氏

日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 主任
篠田 貴之氏

株式会社運動通信社 代表取締役社長
黒飛 功二郎氏

CN-173 “誰も取り残さない社会”メディアに何ができるのか？

SDGs(国連の持続可能な開発目標)の認知が広がるにつれて、国や自治体の政策、企業の理念に、「誰一人取り残さない」という言葉が頻りに使われるようになってきている。しかし、掲げる目標と社会の現実とのギャップは大きい。望まない孤立や孤独、貧困や差別に苦しむ人達。メディアの報道はその人達を追い詰めてはいないだろうか。課題を生み出す社会構造に対して、解決に向けた継続的な取り組みはできているだろうか。このセッションでは、問題意識を持って取り組むメディア関係者と、当事者の側に立って積極的に発信を続ける支援者が、メディアが果たすべき役割を考えました。

モデレーター

日本放送協会 放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹
村上 圭子氏

パネリスト

株式会社テレビ朝日 テレビ朝日報道局クロスメディアセンター AbemaNews 現職出向
郭 晃彰氏

「あなたのいばしょ」理事長
大空 幸星氏

株式会社小国士朗事務所 代表取締役 「注文をまちがえる料理店」他多数企画
小国 士朗氏

CN-174 クリエイター主役の時代が始まった

これまで映像コンテンツ制作の場は映画を除くとほぼテレビ局オンリーだった。それがネットの時代になりYouTubeからNetflixまでコンテンツを届ける場は広がっている。そしてメディア主体のコンテンツ制作が作り手主体に変化しているようだ。このセッションでは、テレビ局という場を離れて個人主体でコンテンツ制作を始めているクリエイターたちを集めてもらい、作り手が主役の時代を語り合ってもらおう。メディア産業の構造変化とも言える状況を乗り越え議論をしました。

モデレーター

メディアコンサルタント
境 治氏

パネリスト

株式会社ジェネレートワン 代表取締役
高瀬 敦也氏

株式会社ケイコンツ 代表取締役
平山 勝雄氏

CN-175 生き残りのヒントは「日本と韓国を繋げるIPエンタメ」にある

NetflixやAmazonなど動画配信プラットフォームの世界的な躍進を背景に、日本コンテンツのグローバル展開は柔軟に広がっている。一方で、今や世界のエンターテインメント業界をリードするのは韓国という事実を直視すべき現実もある。そこで、日本と韓国を繋げるIP(知的財産)エンターテインメントビジネスから何を学ぶべきか、これから何ができるのか、いかにして業界全体を活性化できるのかを考えたい。日本と韓国、そしてグローバルな視点を持つ登壇者が議論を深めて、「サブパイプする」ためのヒントを探りました。

モデレーター

コンテンツビジネス・ジャーナリスト
長谷川 朋子氏

パネリスト

情報経営イノベーション専門職大学 超客員教授
黄 仙恵氏

株式会社TBSテレビ ウェブtoon事業担当/韓国Studio Toon 代表取締役会長
長生 啓氏

株式会社フジテレビジョン 編成制作局 編成ビジネスセンター グローバル事業部 部長職 チーフ
東 康之氏

CN-176 ローカル局の意義・役割を、放送の外側から考える

総務省デジ放検でも地域貢献(度)やマス排直直による規制緩和などの議論のとおり、ローカル局の今後に注目が集まっている。ほとんどのローカル局が「地域密着」といったスローガンを掲げているが、ローカル局はこれまでの役割を果たしてきたのか?そして、今後ローカル局の活動が情報空間にも広がるなかで、地域との信頼関係は築けるのか?これからの時代にローカル局が必要とされる地域に向けた価値・役割を、放送局以外の方々から立場・視点で議論しました。

モデレーター

株式会社TVQ九州放送 編成局デジタル編成部
永江 幸司氏

パネリスト

株式会社トーチ 代表取締役社長 企画・事業開発
佐野 和哉氏

楽天グループ株式会社 コマースカンパニー 地域創生事業 共創事業推進部 シニアマネージャー
柘植 正基氏

株式会社今治 夢スポーツ 代表取締役社長
矢野 将文氏

出展者 ▶会場：展示ホール7

7002 マルチスクリーン型放送研究会
7003 New Relic(株)
7004 (株)Jストリーム
7005 (株)Jストリーム
7006 北陸電話工事(株)
7007 (株)オルカプロダクション
7009 JEITA テープストレージ専門委員会
7010 一般社団法人IPTVフォーラム

出展者 / 会場レイアウト

企画セッション ▶会場：展示ホール7 企画セッションオープンステージ

11月18日(金)

CN-181 生き残りのヒントは「日本と韓国を繋げるIPエンタメ」にある

NetflixやAmazonなど動画配信プラットフォームの世界的な躍進を背景に、日本コンテンツのグローバル展開は柔軟に広がっている。一方で、今や世界のエンターテインメント業界をリードするのは韓国という事実を直視すべき現実もある。そこで、日本と韓国を繋げるIP(知的財産)エンターテインメントビジネスから何を学ぶべきか、これから何ができるのか、いかにして業界全体を活性化できるのかを考えたい。日本と韓国、そしてグローバルな視点を持つ登壇者が議論を深めて、「サブパイプする」ためのヒントを探りました。

モデレーター

コンテンツビジネス・ジャーナリスト
長谷川 朋子氏

パネリスト

情報経営イノベーション専門職大学 超客員教授
黄 仙恵氏

株式会社TBSテレビ ウェブtoon事業担当/韓国Studio Toon 代表取締役会長
長生 啓氏

株式会社フジテレビジョン 編成制作局 編成ビジネスセンター グローバル事業部 部長職 チーフ
東 康之氏

CN-182 ローカル局の意義・役割を、放送の外側から考える

総務省デジ放検でも地域貢献(度)やマス排直直による規制緩和などの議論のとおり、ローカル局の今後に注目が集まっている。ほとんどのローカル局が「地域密着」といったスローガンを掲げているが、ローカル局はこれまでの役割を果たしてきたのか?そして、今後ローカル局の活動が情報空間にも広がるなかで、地域との信頼関係は築けるのか?これからの時代にローカル局が必要とされる地域に向けた価値・役割を、放送局以外の方々から立場・視点で議論しました。

モデレーター

株式会社TVQ九州放送 編成局デジタル編成部
永江 幸司氏

パネリスト

株式会社トーチ 代表取締役社長 企画・事業開発
佐野 和哉氏

楽天グループ株式会社 コマースカンパニー 地域創生事業 共創事業推進部 シニアマネージャー
柘植 正基氏

株式会社今治 夢スポーツ 代表取締役社長
矢野 将文氏

CN-183 クリエイター主役の時代が始まった

これまで映像コンテンツ制作の場は映画を除くとほぼテレビ局オンリーだった。それがネットの時代になりYouTubeからNetflixまでコンテンツを届ける場は広がっている。そしてメディア主体のコンテンツ制作が作り手主体に変化しているようだ。このセッションでは、テレビ局という場を離れて個人主体でコンテンツ制作を始めているクリエイターたちを集めてもらい、作り手が主役の時代を語り合ってもらおう。メディア産業の構造変化とも言える状況を乗り越え議論をしました。

モデレーター

メディアコンサルタント
境 治氏

パネリスト

株式会社ジェネレートワン 代表取締役
高瀬 敦也氏

株式会社ケイコンツ 代表取締役
平山 勝雄氏

CN-184 サッカーW杯直前！かわるスポーツ視聴

11月20日開幕のサッカーW杯カタール大会をAbemaが全試合「配信」する。かつては地上波放送の独壇場だったスポーツ中継だったが、多チャンネル化や通信技術の向上で、いまは様々な視聴方法が提供されるようになった。W杯開幕直前のいま、これまでのスポーツ視聴の変化をその当事者に語ってもらい、まだまだ進化・深化するこれからのスポーツ視聴の可能性を探りました。

モデレーター

株式会社ODYSSEY 代表取締役 元朝日放送アナウンサー
平岩 康佑氏

パネリスト

株式会社AbemaTV 編成制作本部スポーツエンタメ局 局長
塚本 泰隆氏

日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 主任
篠田 貴之氏

株式会社運動通信社 代表取締役社長
黒飛 功二郎氏

CN-185 コロナ時代の新しいメディアライフスタイルとは

2022年現在、人々の生活行動の全体像を捉えることは困難になっている。コロナ禍以前の生活への回帰ははかられる一方、一部では在宅勤務などの新しい生活様式の定着が見られるため。そこで電通とビデオリサーチは、MCR/ex生活行動データを用いたソーシャル・シークエンス分析によって生活時間の流れにおける行動パターンを類型化した。コロナ禍前後の3時点の分析を通してコロナ禍の生活行動・メディア利用行動の変化や定着度合いが明らかになった。本セッションでは分析結果の紹介とディスカッションを通して、生活行動とメディア利用行動の最新トレンドに迫りました。

モデレーター

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ 統括責任者 電通総研 フェロー
奥 律哉氏

パネリスト

株式会社ビデオリサーチ ひと研究所 主任研究員
渡辺 庸人氏

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ 主任研究員
森下 真理子氏

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

基調講演

▶会場:国際会議場 国際会議室

11月18日(金)


INTER BEE IGNITION×DCEXPO基調講演

KN-182 13:00 ▶ 14:00

2025大阪・関西万博が描く未来社会と先端テクノロジー


パネリスト

メディアアーティスト
(大阪・関西万博「いのちを豊く」
テーマ事業プロデューサー)



落合 陽一氏


プランナー、プロデューサー
株式会社シンク・コミュニケーションズ 代表取締役
(大阪・関西万博会場運営)
プロデューサー



石川 勝氏

モデレーター

株式会社角川アスキー
総合研究所 主席研究員
(MITテクノロジーレビュー日本橋アドバイザー)
(ASCIM STARTUPエグゼクティブアドバイザー)



遠藤 諭氏

企画セッション


▶会場:オンライン会場

11月16日(水)


IG-161 DCEXPO企画:アートが発信する未来 — 創賞・匠賞受賞記念トークセッション —

パネリスト


ミュージシャン/作曲家/
音楽プロデューサー
小室 哲哉氏



精神科医・作家
和田 秀樹氏



アーティスト/
東京大学名誉教授
河川 洋一郎氏




モデレーター


IG-162 ポリメトリックキャプチャ最新動向

パネリスト


株式会社ソニー・
インタラクティブエンタテインメント
大場 章男氏



ワイズファール ピクチャーズ 株式会社
伊藤 博文氏



株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
メディア環境研究所 上席研究員
森永 真弓氏



モデレーター

11月17日(木)

IG-171 DCEXPO企画: ACM SIGGRAPH招聘トークセッション コンテンツ技術が未来を変える

日本語字幕

パネリスト

クイーンズランド大学 専任講師
SIGGRAPH 2023 Emerging Technologies Chair
Mashhuda Glencross氏



モデレーター


日本大学講師/映像新聞論説委員
杉沼 浩司氏




IG-172 宇宙メタバースで考えるweb3の可能性

パネリスト


株式会社バスキュール
代表取締役
朴 正義氏



Animoca Brands
株式会社
代表取締役CEO
谷 元樹氏



株式会社
HEART CATCH
代表取締役
西村 真里子氏



モデレーター



出展者

▶会場:展示ホール6

INTER BEE IGNITION×DCEXPO

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 6002 monoAI technology(株) | 6003 (株) グラブス |
| 6004 ASIAGRAPH CG アートギャラリー | 6005 (一財) デジタルコンテンツ協会 |
| 6006 SIGGRAPH Asia 2022 | 6007 KAIST (from SIGGRAPH2022) |
| 6008 (株) マウンテンスタジオ | 6009 東京コンピュータサービス(株) |
| 6010 (株) ソリッドレイ研究所 | 6011 クモノスコポーレーション(株) |

Innovative Technologies 2022

コンテンツ産業の発展に大きく貢献が期待される先進的で優れた技術を発掘し、皆様に「新しい未来」を先取り体験いただくことを目的として、会場にてその優秀技術の展示、表彰を行いました。

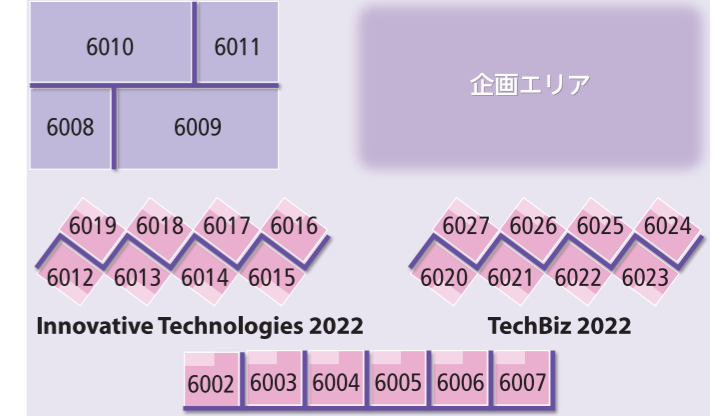
- | | |
|---|---|
| 6012 (株) Qosmo | 6013 キリンホールディングス(株)/明治大学 |
| 6014 法政大学/東京大学/明治大学 | 6015 東京大学大学院情報理工学系研究科 竹内・森本研究室 |
| 6016 慶應義塾大学院理工学部 牛場潤一研究室/研究成果活用企業(株) LIFESCAPES | 6017 (株) 積彩 |
| 6018 (株) Shiftall | 6019 (株) 博報堂/[Human X]/(株) invisivi/
東京大学大学院 准教授 嶋海拓志/(株) 博報堂プロダクツ |

TechBiz : Technology Business Acceleration Program

経済産業省が進めるコンテンツ海外展開促進事業(コンテンツ関連ビジネスマッチング事業)の一環として、日本のコンテンツ技術の海外展開に向けたビジネスマッチングを促進するプログラムです。

- | | |
|------------------|------------------|
| 6020 (株) X | 6024 (株) ワンアーカー |
| 6021 (株) DENDOH | 6025 (株) ジョリーグッド |
| 6022 レイワセダ(株) | 6026 (株) xCura |
| 6023 (株) アロマジョイン | 6027 TRIBAWL(株) |

出展者/会場レイアウト



企画イベント

▶会場:展示ホール6

11月16日(水) ステージイベント

10:30 ▶ 12:00

■ 先進映像協会ルミエール・ジャパン・アワード2022表彰式

良質な4K・8K、VR作品へ贈られるルミエール・ジャパン・アワードと、当該分野の発展への寄与が期待される取り組みへ贈られるグッドプラクティス・アワードの、2022年度の受賞者を表彰・公表しました。

出展者デモンストレーション

13:00 ▶ 13:30

株式会社ワンアーカー Part-1

「スマホと動画ひとつで、シミュレーションしながらダンスを覚える」新時代・未体験のダンストレーニング体験の参加型デモンストレーションイベントを実施。観覧者参加型でレッスンも交えながら行ったり、ダンススタジオやダンスインストラクターの方々向けに、ダンスレッスンの抱える課題点をINSYNCがどうアップデートすることができるかなどをレクチャーしました。【プログラムによるダンスパフォーマンスや、INSYNC で行うダンスシンクロ体験イベントを実施】

13:30 ▶ 14:00

株式会社DENDOH

メタバース用アバター作成プラットフォーム「molz」をご紹介します。エンドユーザー向けにアバターの作成・編集・ファッションアイテムの購入、それらの管理が行えるシステム「molz Hub」と、メタバース空間を提供する企業が自社メタバースサービス内でアバターメイク機能を使えるようにするシステム「molz SDK」の2 つのシステムのご紹介しました。

14:00 ▶ 14:30

株式会社ジョリーグッド

医療従事者自らがVR教材を制作でき、いつでもどこでも臨床実習が可能になる「医療教育VR」、国内外の医療施設・教育機関で利用されている最新事例とソリューションをご紹介します。

14:30 ▶ 15:00

株式会社ワンアーカー Part-2

「スマホと動画ひとつで、シミュレーションしながらダンスを覚える」新時代・未体験のダンストレーニング体験の参加型デモンストレーションイベントを実施。観覧者参加型でレッスンも交えながら行ったり、ダンススタジオやダンスインストラクターの方々向けに、ダンスレッスンの抱える課題点をINSYNCがどうアップデートすることができるかなどをレクチャーしました。【実際にダンス現場で取り入れられているサービス「フィードバックトレーニング」体験をレッスン付きで実施】

15:30 ▶ 16:00

東京コンピュータサービス株式会社

XR空間でインタラクティブな音楽体験が可能なアプリケーション「Avatar Jockey」をご紹介します。アバターを楽器にして音楽空間をつくるパフォーマンスをしました。

16:00 ▶ 16:30

株式会社アロマジョイン

香りが出るテレビの歴史について解説するとともに、1960年に放映された[Scent of Mystery]を従来の匂い紙(デスター)方式で香り映画をご体験いただいたのちに、当社の最新技術についてご紹介しました。

16:30 ▶ 17:00

株式会社X

株式会社Xでは弊社最新プロダクトのご紹介を行いました。またご希望の方には実際に操作などをしていただくことも可能です。

17:00 ▶ 17:30

株式会社Shiftall

VRメタバースで、人は何を楽しくしているのか?その魅力を紹介しました。ヘビーユーザーの必携機器となっているボディトラッキング装置HaritoraXの実演や、防音マイクmutalkの実演も行いました。

11月17日(木)・18日(金)

EXPLORE NEW REALITIES VRコンテンツ体験コーナー

● Content #1 池袋ミラーワールド

テレビ東京が運営するメタバースサービス「池袋ミラーワールド」。スマホやPC、VRデバイスひとつで、全国どこからでも遊べる「もうひとつの池袋」です。テレビ東京が創り出す仮想空間で、ここで見られないイベントや、新たな体験をお届けしました。


コンテンツ提供: テレビ東京



● Content #2 -Blue Eyes in HARBOR TALE- 美術セットVR

伊藤有希監督による、横浜の港町をモチーフとしたネオクラフトアニメーション「ハーバーテイル」第2作「ブルーアイズインハーバーテイル」の美術セットを、フォトグラマトリの技術を用いてVR化しました。

コンテンツ提供: I.TOON Ltd.、(株)リ・インベンション



● Content #3 ばってん少女隊 Special VR Live 2022

先進映像協会
ルミエール・ジャパン・アワード
VR部門 グランプリ作品


受賞者:
BATTEN Records / フジ・メディア・テクノロジー



● Content #4 なぎさにて

先進映像協会
ルミエール・ジャパン・アワード
VR部門 特別賞

受賞者: CinemaLeap



INTER BEE IP PAVILION

基調講演 ▶会場：国際会議場 国際会議室

11月17日(木)
KN-173 15:30 ▶ 17:00
INTER BEE IP PAVILION 基調講演
ビッグテック4(Cisco, Amazon, Google, Microsoft)が日本の放送局と考える『SDI から IP、クラウド』の道筋

プレゼンター

日本マイクロソフト株式会社 カスタマーサクセス事業本部 シニアクラウドソリューションアーキテクト 畠山 大有 氏	シスコシステムズ合同会社 データセンターネットワーク開発部門 プロジェクトマネージャー/アジア 下川 洋平 氏	アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 事業開発マネージャー (メディア・エンターテインメント) 山口 賢人 氏	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 カスタマーエンジニア 段野 祐一郎 氏
--	---	---	---

質問者

株式会社静岡第一テレビ 技術プロデューサー 中濱 央友 氏	日本放送協会 技術局 システムソリューションセンター 新井 一之 氏
--	--

リレー技術セミナー ▶会場：展示ホール7

11月16日(水)		
11:00 ▶ 11:20	【基本編】IPネットワークの考え方	リーダー電子株式会社
11:30 ▶ 11:50	【基本編】同期技術から放送システムIP化を解説	Telestream Japan合同会社
12:00 ▶ 12:20	【解説】IP PAVILION プースの構成	セイコーソリューションズ株式会社
12:30 ▶ 12:50	【導入編】これからIP化を考える人のために	リーダー電子株式会社
13:00 ▶ 13:20	【基本編】IPライブ制作におけるブロードキャストコントローラー制御技術の解説	株式会社フォトロン
13:30 ▶ 13:50	【基本編】IPライブシステムの導入	ソニーマーケティング株式会社
14:00 ▶ 14:20	【基礎編】IP同期技術PTPの基本	リーダー電子株式会社
14:30 ▶ 14:50	【基本編】Audio IP規格の解説	ヒビノ株式会社
15:00 ▶ 15:20	【導入編】番組制作用IPインタフェース標準化に関するARIBの取り組み	ARIB機器間インタフェース作業班 / 日本放送協会

11月17日(木)		
11:00 ▶ 11:20	【基本編】マスターから見たIPネットワークの考え方	東芝インフラシステムズ株式会社
11:30 ▶ 11:50	【基本編】同期技術から放送システムIP化を解説	Telestream Japan合同会社
12:00 ▶ 12:20	【解説】IP PAVILION プースの構成	パナソニック コネクテ株式会社
12:30 ▶ 12:50	【基本編】NMOS規格の解説	AMWA Boad Member/ソニーマーケティング株式会社
13:00 ▶ 13:20	【応用編】リモートプロダクションの方法と必要な準備	NTTエレクトロニクス株式会社 / 池上通信機株式会社
13:30 ▶ 13:50	【応用編】ネットワークインテグレーターの役割	ネットワークシステムズ株式会社
14:00 ▶ 14:20	【基本編】IPライブシステムの導入	ソニーマーケティング株式会社

11月18日(金)		
11:00 ▶ 11:20	【応用編】マスターシステムのIP化から見た放送システムについて	日本電気株式会社
11:30 ▶ 11:50	【導入編】リモートIP制作を支える回線サービスの提供	東日本電信電話株式会社 / 西日本電信電話株式会社
12:00 ▶ 12:20	【解説】IP PAVILION プースの構成	ソニーマーケティング株式会社
12:30 ▶ 12:50	【基本編】Audio IP規格の解説	ヒビノ株式会社
13:00 ▶ 13:20	【導入編】番組制作用IPインタフェース標準化に関するARIBの取り組み	ARIB機器間インタフェース作業班 / 日本放送協会
13:30 ▶ 13:50	【導入編】ケーブルテレビ徳島から「経営から見たIP制作システムの導入」	ケーブルテレビ徳島株式会社
14:00 ▶ 14:20	【導入編】リモートIP制作を支える回線サービスの提供	東日本電信電話株式会社 / 西日本電信電話株式会社
14:30 ▶ 14:50	【応用編】リモートプロダクションの方法と必要な準備	NTTエレクトロニクス株式会社 / 池上通信機株式会社
15:00 ▶ 15:20	【特別対談】放送から見たVoIPと通信から見たVoIP	日本放送協会 / 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)

デモ/展示エリア ▶会場：展示ホール8

■参加企業/団体
 (株)アサカ、アストロデザイン(株)、池上通信機(株)、(株)インテリジェント ウェーブ、エイチ・シー・ネットワークス(株)、NEC、NTTエレクトロニクス(株)、シスコシステムズ合同会社、ジャパンマテリアル(株)、(株)精工技研、セイコーソリューションズ(株)、ソニーマーケティング(株)、(株)タムラ製作所、(株)テクノハウス、デジキャス合同会社、Telestream Japan合同会社、東京エレクトロン デバイス(株)、東芝インフラシステムズ(株)、トモカ電気(株)、ネットワークシステムズ(株)、パナソニックコネクテ(株)、原田産業(株)、バンドウイトコーポレーション日本支社、ヒビノ(株)、平河ヒューテック(株)、華為技術日本(株)、(株)フォトン、(株)芙蓉ビデオエイジェンシー、(株)朋栄、ボッシュセキュリティシステムズ(株)、(株)マクニカ、松田通商(株)、(株)メディアリンクス、リーダー電子(株)、Riedel Communications GmbH & Co. KG

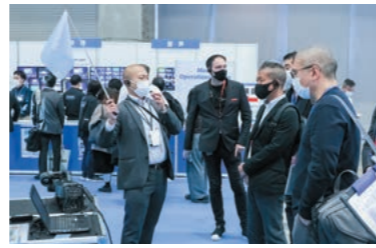
■アドバイザー
 株式会社インターネットイニシアティブ (IIT)、国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)、一般社団法人電波産業会 (ARIB)、日本放送協会 (NHK)、月刊ニューメディア

■企画連携：Interop Tokyo 2023 ShowNet



■ INTER BEE IP PAVILION ブースツアー

放送局の主要な設備がIP接続されたMOC(メディア オペレーションセンター)をブースで展開し、その取り組みをツアー形式で紹介しました。



第59回 民放技術報告会 JBA Symposium of Broadcast Technology

11月16日(水)

JBA-161 10:30 ▶ 15:10
制作技術部門
 座長 山口 裕司 氏 日本テレビ放送網株式会社
 幹事 甲斐 創 氏 日本テレビ放送網株式会社

スタジオ収録同時トランスコード実験について
 藤原 将展 氏 日本テレビ放送網株式会社

ファイル素材アップロードツール「クラブ」の開発
 ～時間・場所・デバイスを選ばないワークフローの実現～
 杉田 佳則 氏 日本テレビ放送網株式会社

照明ルーバーフィルターの開発
 瀬本 貴士 氏 朝日放送テレビ株式会社

中継連携システムTAKTの開発
 松岡 真平 氏 関西テレビ放送株式会社

インターネットとソフトウェアによるリモート制作システムの開発
 石村 信太郎 氏 株式会社WOWOW
 藤本 剛 氏 株式会社TBSテレビ

北京冬季五輪 フジテレビユニコ中継
 真崎 晋哉 氏 株式会社フジテレビジョン

「生ドラ！東京は24時」の制作
 江藤 秀一 氏 株式会社フジテレビジョン

3DCGを活用したXRバーチャルプロダクションへの取り組み
 近藤 剛史 氏 株式会社テレビ東京

北京オリンピック放送における360°映像を用いたXRステージの構築
 藤本 剛 氏 株式会社TBSテレビ

JBA-162 10:30 ▶ 15:10
CG・コンピュータビジョン部門
 座長 小野 真介 氏 株式会社テレビ朝日
 幹事 小池 幸宏 氏 株式会社テレビ朝日

AI顔認識システムのためのアプリケーション「WhoFinder」の開発
 竹内 朝江 氏 日本テレビ放送網株式会社

AI業務支援システム「エイディ」の社内開発
 藤田 貴之 氏 日本テレビ放送網株式会社

AIによる映像編集自動モザイク処理ソフト「BlurOn(ブラーオン)」の開発
 加藤 大樹 氏 日本テレビ放送網株式会社

AIを活用したOA映像検索システムの開発
 苑田 翔吾 氏 株式会社TBSテレビ

AIを用いたコンテンツ分析技術の活用検証～表情認識～
 保谷 和宏 氏 株式会社フジテレビジョン

CGテロップシステムの更新
 山根 卓也 氏 株式会社TBSテレビ

Scoreboard OCRとクラウドデロッパーの連携による簡易スポーツコーダ
 近藤 佑輔 氏 株式会社テレビ朝日

ユニバーサルコンテンツ制作実現のためのゼロコストサバーレススポーツコーダアプリ「Pitch」の開発
 石井 瞭 氏 中京テレビ放送株式会社

3DCGレンダリングサーバーファームのクラウド移行
 市川 充史 氏 株式会社毎日放送

JBA-163 10:30 ▶ 16:00
送出・配信部門
 座長 星 雄二 氏 株式会社テレビ東京
 幹事 坂 豪造 氏 株式会社テレビ東京

TBS NEWS DIG Powered by JNNの開発
 南部 諒生 氏 株式会社TBSテレビ

AIを活用したニュース配信システム「NewsPublisher」の開発
 吉田 洸 氏 株式会社TBSテレビ

日テレNEWS配信システムリニューアル
 小川 隆史 氏 日本テレビ放送網株式会社

クラウドを利用した情報カメラ映像のLIVE配信・収録システム
 吉田 洸 氏 株式会社TBSテレビ

配信CMS-Sambaの構築
 松村 健人 氏 株式会社フジテレビジョン

スポーツコンテンツ開拓のための小規模配信システムの取り組み
 藤井 祐佳 氏 株式会社テレビ東京

ローカル局のDX 動画配信サービス「hod」の自社開発
 西崎 隼 氏 北海道テレビ放送株式会社

フジテレビ系リアルタイム配信 準備作業自動化の取り組み
 米岡 充裕 氏 株式会社フジテレビジョン

AI文字認識によるリアルタイム配信広告制御～アドオンでADをONできます～
 橋本 新士 氏 東海テレビ放送株式会社

リアルタイム配信におけるAIを活用したスレート検知システムの開発と運用について
 古田 貴也 氏 日本テレビ放送網株式会社

リアルタイム配信において生放送中にフタ挿入を行うシステムの構築
 高谷 知宏 氏 株式会社TBSテレビ

11月17日(木)

JBA-171 14:00 ▶ 16:30
**【民放技術報告会特別企画】
 ファイルベースの“これまで”と“これから”
 ～テープからディスク、メモリ、クラウドへ～**

コーディネーター

秋元 乾太郎 氏
 日本テレビ放送網株式会社
 技術統括局技術戦略部 担当副部長

半澤 秋 氏
 株式会社TBSテレビ
 メディアテクノロジー局 メディアソリューション部
 エキスパート職副部長

堀内 淳志 氏
 日本テレビ放送網株式会社
 技術統括局コンテンツ技術運用部 主任

白波瀬 武史 氏
 株式会社テレビ朝日
 技術局設備センター 上級マネージャー

鈴木 健司 氏
 株式会社フジテレビジョン
 技術局技術戦略部第二ニュース総局LIVE STUDIO
 メディアソリューション部及び同業務推進部主任

大崎 雅典 氏
 株式会社テレビ東京
 技術局技術推進部 部長

川島 修 氏
 株式会社エフエム東京
 執行役員 管理本部 技術局長

菊田 和弥 氏
 株式会社MAGICA Lab.
 TVプロダクション事業部 営業部技術戦略担当/
 エグゼクティブスーパーバイザー

JBA-172 10:30 ▶ 11:20
回線・伝送部門
 座長 唐澤 静 氏 株式会社テレビ朝日
 幹事 小池 幸宏 氏 株式会社テレビ朝日

テレビ東京 番組販売XDCAMダビング設備構築
 石井 淳一郎 氏 株式会社テレビ東京

フジテレビ回線センターシステム更新
 安藤 悠人 氏 株式会社フジテレビジョン

JBA-173 10:30 ▶ 12:35
ラジオ・音声部門
 座長 秋山 拓也 氏 株式会社エフエム東京
 幹事 川島 修 氏 株式会社エフエム東京

TBSラジオ第7スタジオ更新～制作現場のDXを目指して～
 石井 裕也 氏 株式会社TBSラジオ

ニッポン放送 第4スタジオの更新
 菊池 昂陽 氏 株式会社ニッポン放送

番組台帳のデジタル化対応について
 三池 敦志 氏 株式会社文化放送

IP方式ラジオAPSの開発
 吉川 大貴 氏 南海放送株式会社

FM回り込みキャンセラー及び混信波除去装置の開発
 恵良 勝治 氏 山口放送株式会社

11月18日(金)

JBA-181 10:30 ▶ 14:45
制作技術部門
 座長 小幡 成樹 氏 株式会社フジテレビジョン
 幹事 佐々木 肇 氏 株式会社フジテレビジョン

フジテレビ湾岸M4スタジオ 映像システム更新
 久保島 春樹 氏 株式会社フジテレビジョン

フジテレビ湾岸スタジオ 照明設備更新
 大野 達平 氏 株式会社フジテレビジョン

4K HDR対応大型中継車の更新 映像システム概要
 南 亮輔 氏 札幌テレビ放送株式会社

4K HDR対応大型中継車の更新 音声システム概要
 山村 忠稔 氏 札幌テレビ放送株式会社

(株)サンテレビジョン新社屋におけるサブシステム
 大島 理穂 氏 株式会社サンテレビジョン

福岡放送 Nサブの更新について
 東 典史 氏 株式会社福岡放送

ABEMA NEWSにおけるクラウドライブプロダクションの取り組み
 森山 顕矩 氏 株式会社テレビ朝日

5Gとクラウドを活用した番組制作
 松村 健人 氏 株式会社フジテレビジョン

JBA-182 10:30 ▶ 12:35
送信部門
 座長 三木 圭輔 氏 株式会社TBSテレビ
 幹事 内田 慎 氏 株式会社TBSテレビ

落雷防御型予備送信所の整備
 竹田 風紀 氏 株式会社テレビ金沢

固定局での新規非常用電源システム導入による長時間電力確保
 後藤 尚之 氏 株式会社京都放送

テレビSTL伝送装置の新規開発と生～生～放送用伝送システムの本社設計
 荒木 優 氏 朝日放送テレビ株式会社

新社屋における重要回線設備と電源設備及び雷サージ対策について
 宮島 才訓 氏 株式会社サンテレビジョン

【南海トラフ地震】に備える 新社屋建設工事の概要
 松岡 茂 氏 株式会社高知放送

JBA-183 10:30 ▶ 15:10
送出・配信部門
 座長 星 雄二 氏 株式会社テレビ東京
 幹事 坂 豪造 氏 株式会社テレビ東京

オンライン完パケ納品システム メディアプランチの開発
 半澤 秋 氏 株式会社TBSテレビ

番組情報システムPLAT-ONによるキューシート/EPG情報の流通改革
 砂川 保史 氏 朝日放送テレビ株式会社

(株)サンテレビジョン新社屋における建築概要
 能美 俊一 氏 株式会社サンテレビジョン

社屋移転におけるEDPS更新対応
 花田 充弘 氏 株式会社サンテレビジョン

サンテレビジョン新社屋マスターシステムについて
 中森 健介 氏 株式会社サンテレビジョン

日本テレビマスター運行監視システムと新機能追加について
 小林 諒 氏 日本テレビ放送網株式会社

JBA-184 13:30 ▶ 15:35
データ放送・放送通信連携・アクセシビリティ部門
 座長 三木 圭輔 氏 株式会社TBSテレビ
 幹事 内田 慎 氏 株式会社TBSテレビ

データ放送オーバーレイ機能を活用したTVer ID獲得拡大のための新サービス開発
 鈴木 一輝 氏 中京テレビ放送株式会社

非特定視聴データ 準リアルタイムダッシュボードの開発
 松田 裕貴 氏 讀賣テレビ放送株式会社

音声広告効果検証基盤の構築と音声広告効果のデータ実証
 小田 紀和 氏 株式会社エフエム東京

AI音声認識を用いた会話確認補助ツールの開発
 川平 貴之 氏 日本テレビ放送網株式会社

ANC重畳メタデータのイベントメッセージ交換装置の開発
 宮澤 俊二 氏 株式会社TBSテレビ

Visitor Profile

幕張メッセ会場

■ 日別登録来場者数

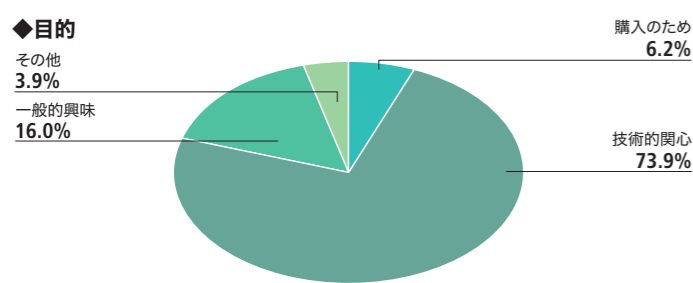
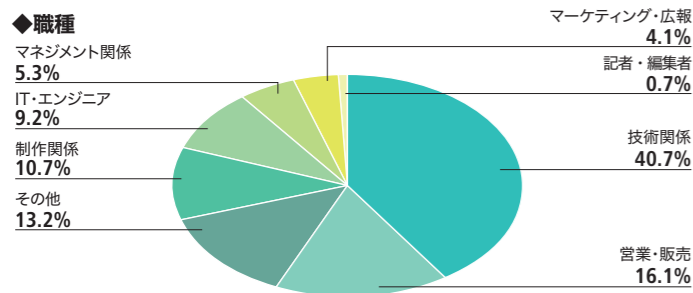
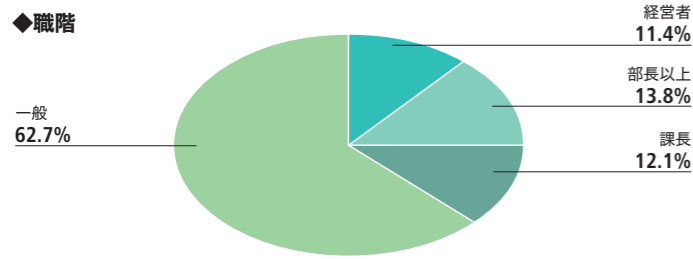
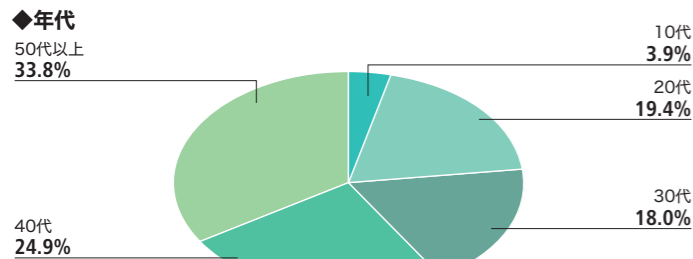
	11/16(水)	11/17(木)	11/18(金)	合計
国内登録来場者数	8,600	9,048	8,507	26,155名
海外登録来場者数	437	158	151	746名
合計	9,037	9,206	8,658	26,901名

■ 登録来場者数の内訳

エリア	国・地域数 / 来場者数	国・地域別の来場者数
日本国内	1カ国 / 26,155名	日本 26,155
アジア地域	11カ国・地域 / 551名	韓国 308 / 中国 53 / 台湾 42 / インドネシア 18 / タイ 51 / 香港 27 / シンガポール 24 / フィリピン 5 / マレーシア 2 / インド 20 / スリランカ 1
北中南米地域	3カ国 / 40名	アメリカ合衆国 36 / カナダ 3 / 他 1
大洋州地域	1カ国 / 2名	オーストラリア 2
中東・アフリカ地域	3カ国 / 10名	アラブ首長国連邦 5 / トルコ 4 / その他 1
ヨーロッパ地域	12カ国 / 38名	イギリス 11 / ドイツ 6 / スペイン 1 / フランス 4 / ベルギー 1 / チェコ 1 / ポーランド 1 / フィンランド 2 / オーストリア 3 / クロアチア 2 / スイス 2 / アイスランド 4
不明		105
合計	31ヶ国・地域	26,901

登録来場者数: **26,901**名

■ 来場者の属性



◆業種

機器メーカー	15.5%	インターネット関連・Web制作・Webサービス	2.9%
民間放送テレビ局	9.9%	通信事業者	2.8%
映画・映像制作会社・ビデオグラファー	7.5%	舞台・演出・美術・照明関連	2.3%
学生	7.0%	CATV関係	2.0%
システムインテグレータ	5.8%	興行・イベント企画・広告代理店	1.7%
その他ユーザ	5.5%	官公庁・団体	1.7%
ポストプロダクション	5.4%	施設・店舗関係	1.5%
その他ゲスト	5.0%	レコード制作会社・音楽制作・音楽家	1.5%
商社	4.9%	コンテンツ配信事業者	1.4%
プロダクション	3.8%	出版・印刷	1.0%
NHK	3.4%	民間放送ラジオ局	0.7%
PA関係	3.4%	ビデオソフト制作会社	0.4%
コンテンツ制作関連	3.0%		

◆関心(複数回答)

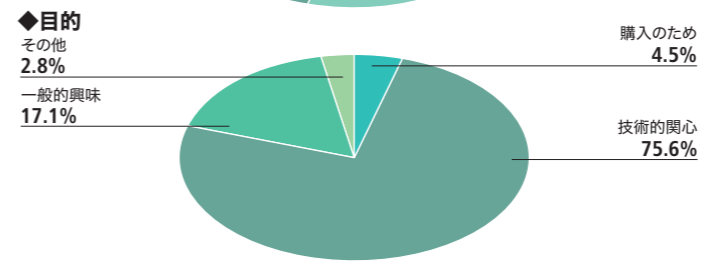
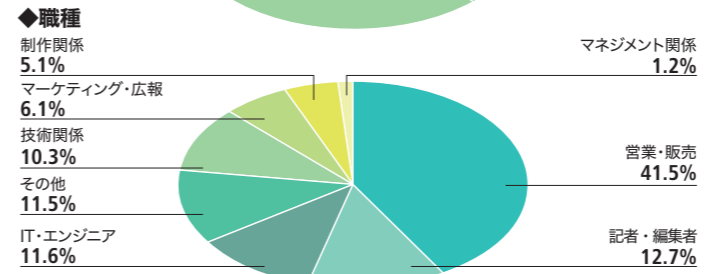
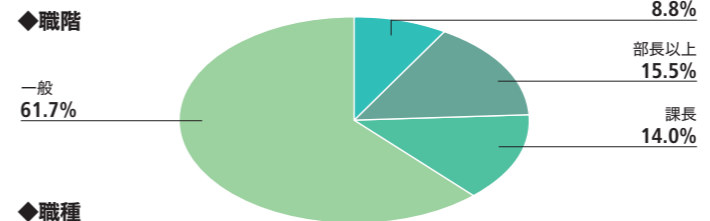
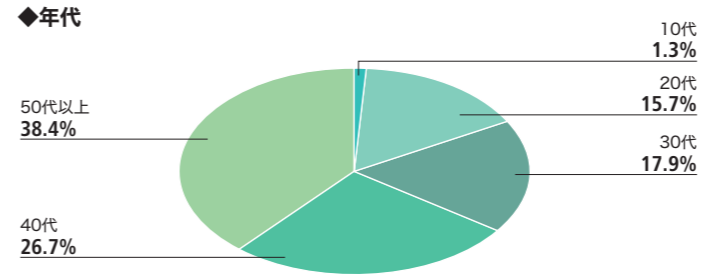
映像機器全般	57.3%	サーバ・ストレージ	9.1%
オーディオ機器全般	36.1%	送出システム	8.8%
カメラ	25.7%	パブリックビューイング、プロジェクションマッピング、デジタルサイネージ	8.1%
配信システム	18.9%	OTT、SNS、セカンドスクリーン関連	8.0%
VR,AR,3D	17.3%	送信システム	7.7%
編集・制作装置	16.9%	広告/マーケティングサービス	6.5%
クラウドサービス関連	15.1%	各種特機・周辺製品	6.3%
映像モニタ	14.8%	制作管理システム	5.8%
スピーカ	14.0%	デジタルシネマ	5.8%
デジタルコンテンツ	13.3%	美術・舞台演出関連	5.6%
マイクロホン	12.4%	測定機器	5.5%
ミキサ	12.4%	VTR・メモリアード・光ディスク	4.6%
ソフトウェア	11.4%	電源装置	3.8%
中継システム	10.9%	その他	1.1%
照明機器	10.8%		

オンライン会場

■ 登録来場者数 期間: 11月1日(火)~12月23日(金)

登録来場者数: **12,383**名

■ 来場者の属性



◆業種

機器メーカー	18.5%	通信事業者	2.9%
民間放送テレビ局	14.4%	CATV関係	2.5%
その他ユーザ	5.8%	PA関係	2.4%
システムインテグレータ	5.7%	官公庁・団体	2.1%
映画・映像制作会社・ビデオグラファー	5.6%	コンテンツ配信事業者	1.7%
NHK	5.5%	興行・イベント企画・広告代理店	1.7%
ポストプロダクション	4.6%	民間放送ラジオ局	1.2%
その他ゲスト	4.5%	施設・店舗関係	1.2%
学生	3.6%	レコード制作会社・音楽制作・音楽家	1.1%
インターネット関連・Web制作・Webサービス	3.4%	舞台・演出・美術・照明関連	1.1%
プロダクション	3.2%	出版・印刷	1.0%
コンテンツ制作関連	3.0%	ビデオソフト制作会社	0.3%
商社	3.0%		

◆関心(複数回答)

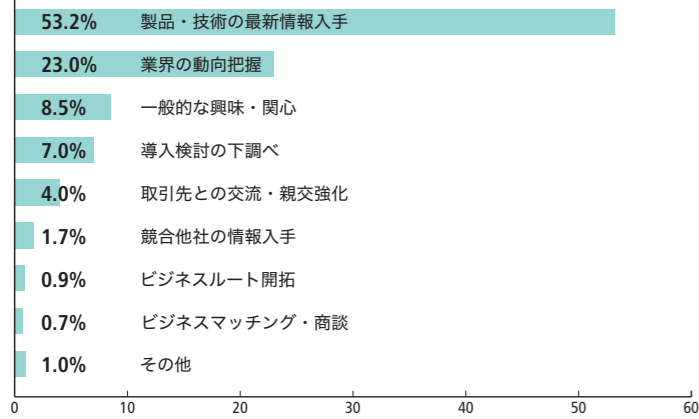
映像機器全般	52.5%	マイクロホン	9.7%
オーディオ機器全般	30.6%	広告/マーケティングサービス	9.7%
配信システム	23.9%	送信システム	9.6%
VR,AR,3D	22.3%	ミキサ	9.4%
カメラ	21.9%	パブリックビューイング、プロジェクションマッピング、デジタルサイネージ	9.2%
クラウドサービス関連	21.8%	制作管理システム	7.2%
デジタルコンテンツ	19.8%	照明機器	7.0%
編集・制作装置	17.3%	測定機器	6.5%
ソフトウェア	13.8%	デジタルシネマ	6.1%
OTT、SNS、セカンドスクリーン関連	13.2%	各種特機・周辺製品	5.3%
中継システム	12.4%	美術・舞台演出関連	4.5%
映像モニタ	11.8%	VTR・メモリアード・光ディスク	4.2%
送出システム	11.5%	電源装置	3.3%
スピーカ	10.3%	その他	1.2%
サーバ・ストレージ	10.0%		



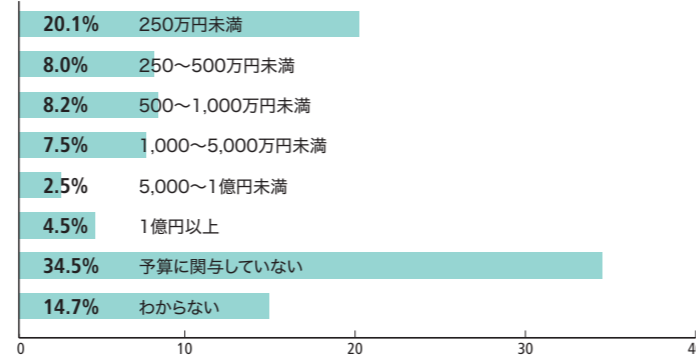
Visitor Profile

来場者アンケート

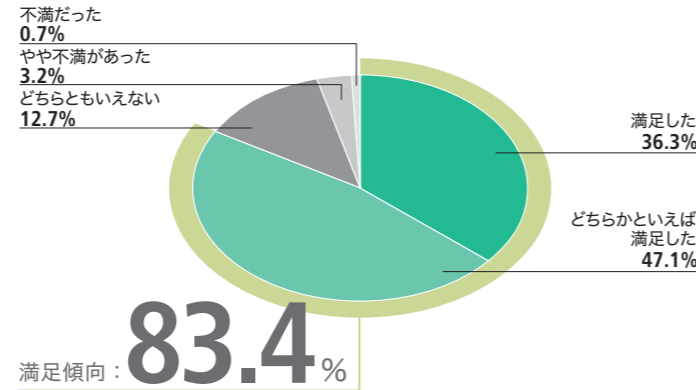
◆『Inter BEE 2022』にご来場された目的を教えてください。
(複数回答)



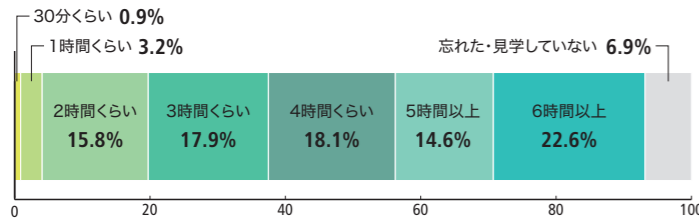
◆あなたが関与する製品・サービスの購入・導入に対する予算は、
おおよそ年間いくらくらいですか。



◆『Inter BEE 2022』全体を通して、どの程度満足しましたか。

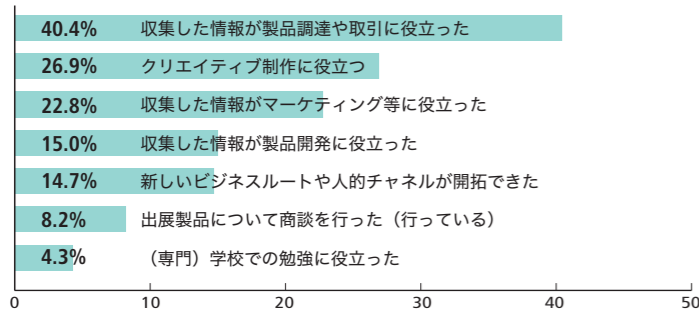


◆『Inter BEE 2022 (幕張メッセ会場)』で過ごされた時間を教えてください。
2日以上ご来場の場合は、一番長く過ごされた時間でお知らせください。

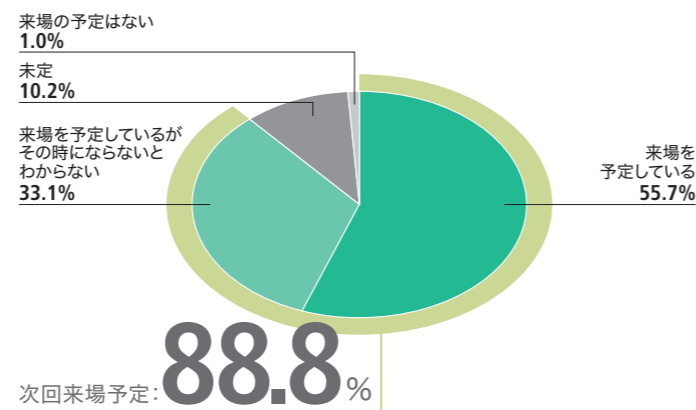


55.3%の人が**4時間以上**滞在しています

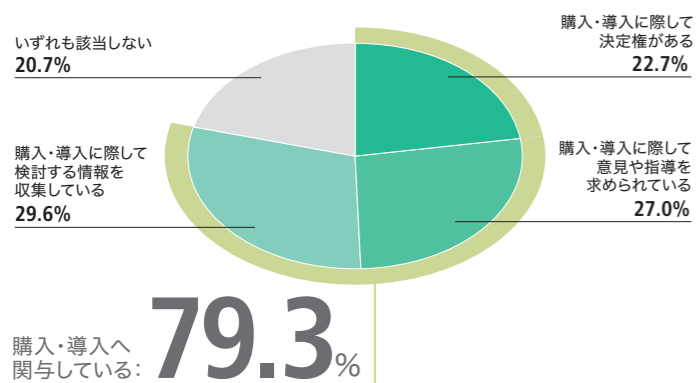
◆『Inter BEE 2022』を見学して、
その後のビジネスに役立ちましたか。(複数回答)



◆『Inter BEE 2023』にご来場いただけますか。



◆御社での製品・サービスの購入・導入にあたって、
あなたはどの程度関与されていますか。



Exhibitor Profile

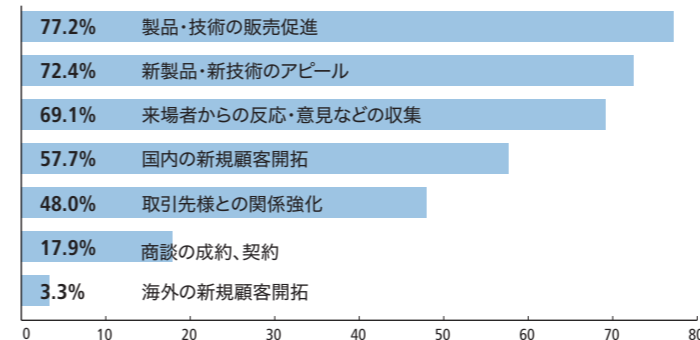
部門別出展状況

展示部門	出展者数	小間数
プロオーディオ	213	234
映像表現/プロライティング	59	64
映像制作/放送関連機材	473	1,005
ICT/クロスメディア	65	88
合計	810	1,391

出展者数: **810**社 出展国・地域数: **38**カ国・地域

出展者アンケート

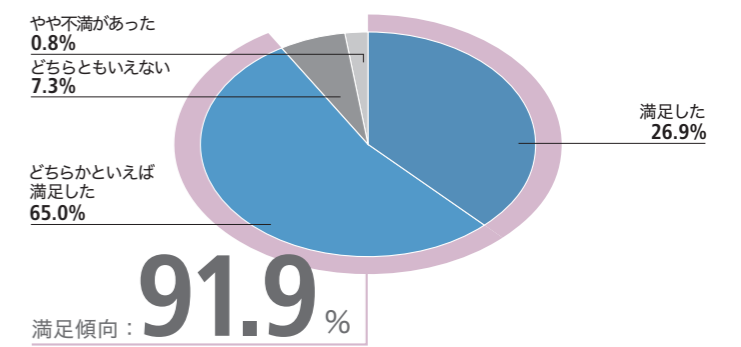
◆出展した目的【複数回答】



登録出展者数の内訳

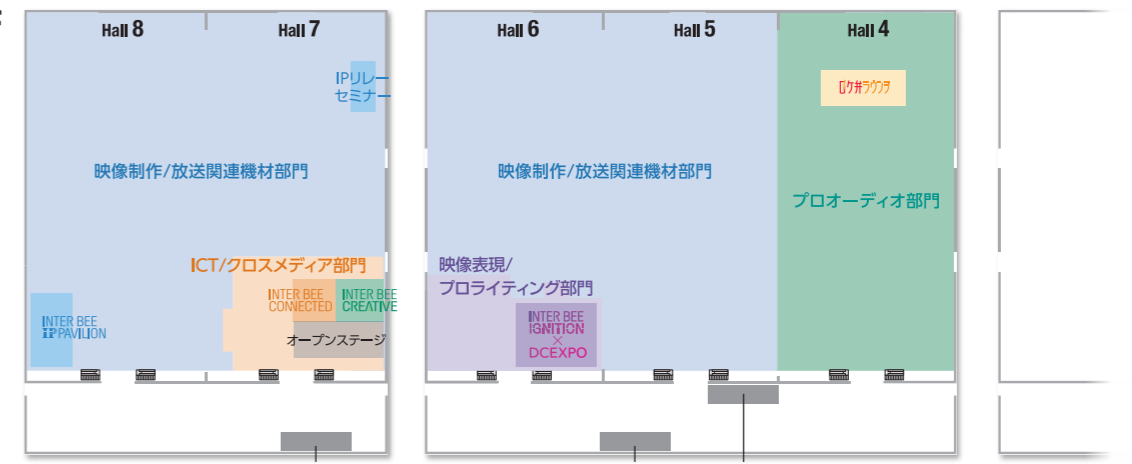
エリア	国・地域数/出展者数	国・地域数/出展者数
日本国内	1カ国/387社	日本 387
アジア地域	9カ国・地域/90社	中国 51/韓国 13/台湾 15/インド 1/香港 2/シンガポール 3/インドネシア 1/タイ 3/マレーシア 1
北中南米地域	5カ国・地域/153社	アメリカ 137/カナダ 13/ブラジル 1/メキシコ 1/コスタリカ 1
大洋州・中東・アフリカ地域	3カ国・地域/14社	オーストラリア 6/イスラエル 5/ニュージーランド 3
ヨーロッパ地域	20カ国・地域/166社	ドイツ 45/イギリス 36/フランス 17/オランダ 6/イタリア 9/スウェーデン 9/スイス 5/オーストリア 3/スペイン 6/ベルギー 8/デンマーク 7/ルウェー 5/ハンガリー 1/ブルガリア 1/クロアチア 1/ラトビア 1/トルコ 3/チェコ 1/ポルトガル 1/リヒテンシュタイン 1
	38カ国・地域	810社

◆今回の目的達成の満足度

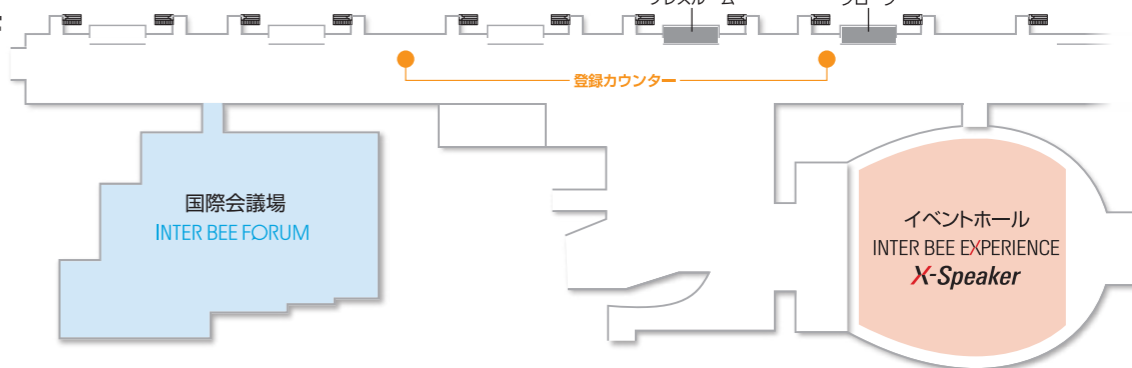


会場構成

国際展示場 1F



2F



Publication and Promotion

■ 広報活動(プレスリリース配信実績)

- *出展募集開始告知リリース(3/1)
- *特別企画『INTER BEE IGNITION×DCEXPO』発表リリース(4/1)
- *来場事前登録開始リリース(10/4)
- *オンライン開催告知リリース(10/31)
- *開幕告知リリース(11/15)
- *幕張メッセ期間終了リリース(11/21)
- *オンライン終了プレスリリース (12/26)

■ プレス登録者数

186名(幕張メッセ会場)

205名(オンライン会場)

※登録の際に職種を「記者・編集者」と選択した人をプレスとしてカウント

■ 主な掲載WEB NEWS (※順不同)

VIDEO SALON	ValuePress
PRTimes	MarTech
デジカメWatch	日テレNEWS
PRONews	classmethod
AVWatch	IJ Engineers Blog
ascii.jp	ITmediaNEWS
PHILEWEB	フジテレビ
Screens	マイナビNEWS
電波新聞	CAMERAWEB
iZOTOPE	XTECH

■ 主な掲載紙誌 (※順不同)

FDI	TV technology
特ラ機構	FORN
Event Marketing	ユニ通信
月刊ビデオジャーナル	good PRONews
月刊B-maga	電波新聞
映像新聞	電波タイムズ
NEW MEDIA	

■ 広告掲載 (※WEB/バナー含む)

映像新聞	NEW MEDIA
電波技術協会報(FORN)	Vook
月刊 イベントマーケティング by MICE 研究所	ABU(Technical Review)
B-maga(サテマガ・ビー・アイ)	KOBA Guide Book
日刊 電線新聞	

■ Inter BEE Official Mail Magazine

経年的に蓄積している来場者データベースに向けて最新情報を配信。

2022年1月~12月: 配信 **31** 件

1回の配信総数 **96,756** 件

■ Inter BEE 公式Website

Inter BEE 公式サイトは、Inter BEE出展者情報を発信するオンライン会場としての活用や、関連イベントや業界の話題性の高い情報を、年間を通じて発信しています。

◆サイト訪問数
(2022年3月~12月)

584,897 セッション
(前年比 111.8%)

◆Online Magazine 記事掲載数

40 件



■ 公式Twitter

◆フォロワー数:
3,791 件 (前年比 117.0%)

◆ツイート数:
311 件

◆インプレッション:
(2022年1月~12月)
956,447 件



■ 公式Facebook

◆フォロワー数:
5,711 件 (前年比 102.5%)

◆投稿数:
153 件

◆年間リーチ数:
647,382 ユーザ



■ 公式Instagram

◆フォロワー数:
1,409 件 (前年比 124.6%)

◆投稿数:
109 件 (ストーリー含む)



次回開催

加速するメディアとエンターテインメントの進化。
時流を捉え次のステージへ。

Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2023

11.15 水 ▶▶▶ 17 金 Makuhari Messe